

環境制御装置 Palette

■ 設定・操作マニュアル ■

※ ご使用前に、正しく安全にお使いいただくため
このマニュアルを必ずお読みください。

SPJC-12

更新履歴

更新日	備考
2014/4/15	初版
2016/7/7	制御ボックス関連の修正
2017/12/18	本体写真の変更
2019/4/4	呼び鈴表記追加、管理ツール修正
2021/11/10	用語、イラストの全面改修

目次

1. 製品構成	4
2. 機能・仕様	5
3. 接続	7
4. 電源のオン／オフ	12
5. 画面説明	14
6. 設定画面	15
6-1. 設定画面の基本操作	17
6-2. システム設定	20
6-2-1. 操作設定	22
6-2-2. 画面設定	24
6-2-3. 選択枠設定	27
6-2-4. 通信設定	29
6-2-5. 音設定	32
6-3. 画面設定	33
6-3-1. ページボタンの設定	33
6-3-2. カテゴリボタンの設定	38
6-3-3. リモコンボタンの設定	42
6-3-3-1. グリッドの設定	43
6-3-3-2. 基本的なリモコンボタン画面の操作説明	44

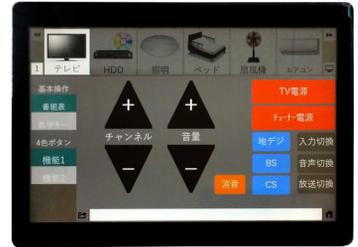
目次

6-3-3-3. リモコンボタン画面のポップアップメニュー	46
6-3-3-4. リモコンボタンの編集・学習	54
6-3-3-5. リモコンラベルの編集	61
7. エアコンの設定	62
7-1. ページボタンの設定	62
7-2. カテゴリボタンの設定	63
7-2-1. 設定画面の編集	63
7-2-2. エアコン設定画面の設定	64
7-2-3. 運転条件の設定	65
7-2-4. リモコン信号学習	75
8. 操作説明	79
8-1. 主な操作方法	79
8-2. リモコン機器選択手順	80
8-3. スイッチ1個による操作(スキャン操作)	81
8-4. スイッチ2個による操作(ステップ操作)	87
9. 注意事項	89
10. 保証	90

1. 製品構成

■環境制御装置Palette本体 (以下 本体)

登録された家電製品の赤外線信号を、様々な方法で入力し信号を送出し、家電製品の制御が可能になります。1つのスイッチによる入力(スキャン)、2つのスイッチでの入力(ステップ)、マウス代替装置による入力やタッチパネルによる直接入力が可能です。



■環境制御装置Palette制御ボックス (以下 制御ボックス)

本体と接続して、登録されている家電製品の赤外線信号を出力します。スイッチを接続するポートは2つ。呼び鈴などの外部出力のポートが1つあります。呼び鈴などの設置に関しては販売代理店にお問い合わせください。



■赤外線発光ユニット

赤外線信号を出力する機器です。

制御する家電製品へ赤外線信号が遮られない場所に設置してください



■キーボード／マウス(オプション)

環境制御装置のアプリケーションの設定をする場合に使用します。

市販のUSBキーボード、USBマウスをご用意ください。

2. 機能・仕様

■ハードウェア仕様

環境制御装置本体

外形	幅241.0mm × 奥行き26.5mm × 高さ170.7mm
重量	660g(オプション品は除外)
電源・消費電力	ACアダプタ100V (最大約 11W)
使用環境	温度:0~40℃ 湿度:10~70% (結露しないこと)
タッチパネル	10.1型静電容量式タッチパネル 解像度:1200 × 800ドット(WXGA)
インターフェース	USB TypeA × 4ポート miniHDMI × 1ポート
VESAマウント	75 × 75mm

制御ボックス

入力数	接点入力:2
入力定格	設定開放電圧:3.3V 設定短絡電流:Max.0.3mA
出力数	接点出力:1(呼び鈴)
出力定格	負荷電圧:Max.60V 負荷電流:Max.1A ON抵抗:Max.0.7Ω

■ソフトウェア仕様

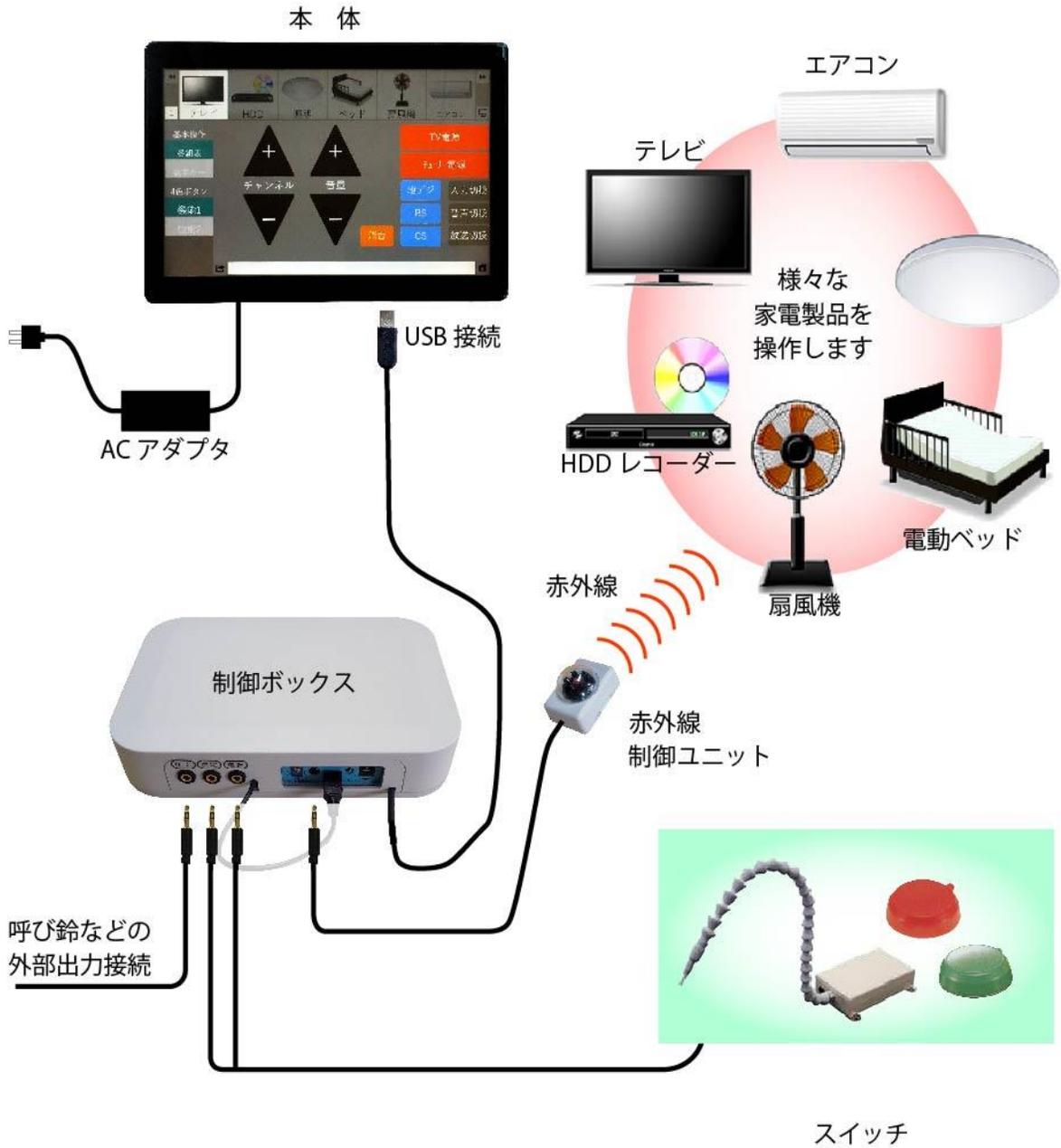
動作環境	OS	Windows 10 IoT
	CPU	1GHz以上
	メモリ	2GB以上
	ディスプレイ	SVGA(800 × 600)以上
操作機器数	最大24機器	
リモコン学習可能最大数	5760(24×8×30)チャンネル (これ以外にエアコン学習点数:最大71875チャンネル)	
操作方法	<ul style="list-style-type: none"> ・スキャン(1入力[決定]) ・ステップ(2入力[決定][選択]) ・USBマウス ・タッチ入力 	
操作確認音	合成音声／操作音／なし	
ユーザー補助	モニタ電源ON／OFF	

外観図



3. 接続

環境制御装置Paletteの全体接続構成を以下に示します。



①制御ボックスの接続

- ・制御ボックスのUSBケーブルを、本体下側のUSBポートに接続します。



制御ボックス 上面図

- ・制御ボックスの赤外線出力端子に、赤外線発光ユニットのケーブルを接続します。赤外線発光ユニットは家電を操作するための赤外線信号を発光する部分です。発光の妨げになるような障害物がない場所に設置してください。



制御ボックス 側面図

キーボード／マウスの接続

必要に応じてキーボードとマウスを本体側面のUSB端子に接続します。

(設定時のみ接続してください。通常運用時は、キーボード／マウスで操作する場合のみ接続してください。)

③ACアダプタの接続

制御ボックスの電源端子に接続してから、コンセントにしっかりと差し込みます。



制御ボックス 側面図

通電すると、電源ランプが緑色に点滅します。



制御ボックス 側面図

制御ボックスにACアダプタを接続していない場合、通電していない場合、制御ボックスから赤外線信号が出力されず、家電操作ができませんので、必ず接続してください。

※入出力端子に機器を接続する場合

以下の仕様に適合した機器を接続してください。

仕様外の機器を接続すると、制御ボックスや接続した機器を破損する恐れがあります。

決定	入力スイッチを接続します。		
	【6-2-1. 操作設定】	スキャン(1入力操作)	使用します。 [決定機能]
		ステップ(2入力操作)	
選択	入力スイッチを接続します。		
	【6-2-1. 操作設定】	ステップ(2入力操作)	使用します。 [選択機能]
N C	呼び鈴などの外部出力を接続します。 詳しくは販売代理店にお問い合わせください。		

操作設定画面で選択された操作方法により入力スイッチの動作が異なります。

スキャン操作選択時

1つの外部スイッチを「決定」に接続し、自動で選択枠が移動している際にスイッチを作動させることで枠内の信号が送出されます。

ステップ操作選択時

2つの外部スイッチを「決定」「選択」に接続します。「選択」に接続された外部スイッチの操作で枠は移動し、「決定」に接続された外部スイッチの操作でリモコンボタン内に設定された赤外線信号が送出されます。

詳しくは6-2-1操作設定をご確認ください



制御ボックス 側面図

※呼び鈴等の外部出力接続を希望される場合は、配線工事が必要となることがありますので、詳しくは販売代理店にお問い合わせください。

④呼び鈴

「決定」に接続された外部スイッチを一定時間、入力することで「NC」に接続された呼び鈴などの外部出力装置を作動させることができます。

この機能は本体が停止していても、制御ボックス単独で作動します。

・接続

制御ボックスのNCに呼び鈴などの外部出力装置を接続します。



・長押し時間の調整

ボリュームを精密ドライバーで回すことで、適切な時間に調整してください。

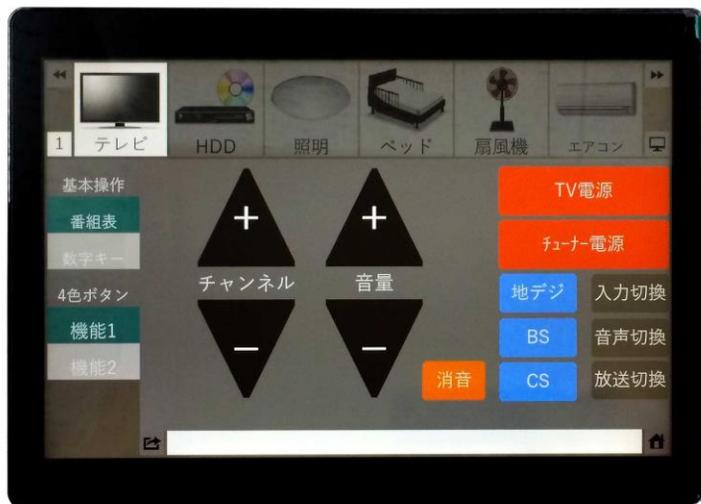
2～6秒で調整ができます。

4. 電源のオン／オフ

①電源オン

本体右側面の電源スイッチを押します。

しばらくすると自動的にアプリケーションは起動します。

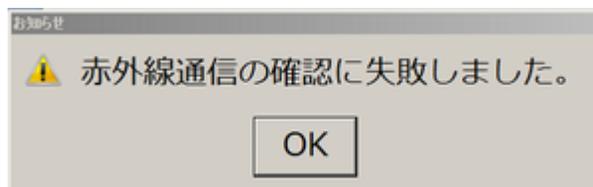


本体 正面



本体 側面

起動時に下図のエラーメッセージが表示される場合は、家電を操作することができません。【6-2-4. 通信設定】を確認して、正しいポート番号を設定してください。設定後は、ソフトウェアを再起動してください。



赤外線通信ポート番号設定エラーメッセージ

②電源オフ

起動中に電源ボタンを押しても、電源をオフにすることはできません。

電源をオフにする方法は下記の2種類です。

1. 画面下のメッセージ表示エリアを右もしくは左にドラッグして「設定モード」に変更し、中央部分に表示された赤い「終了」ボタンを選択してください。(詳しくは後述の「6. 設定画面」を参照してください。
2. USBキーボードを接続し、「CTRL」キーと「S」キーを押して「設定モード」に変更してください。中央部分に表示された赤い「終了」ボタンを選択してください。(詳しくは後述の「6. 設定画面」を参照してください。

5. 画面説明

■初期画面

アプリケーションが正常に起動後、最初に表示される画面です。



①大分類エリア

リモコンで操作される機器を表示するエリアです。
機器を表示する枠をページボタンといいます。

②中分類エリア

大分類で選択される機器を操作／機能別に表示するエリアです。
各項目をカテゴリボタンといいます。

③小分類エリア

リモコン操作を行うリモコンボタンを表示するエリアです。

④メッセージ表示エリア

操作に対するメッセージが表示されるエリアです。

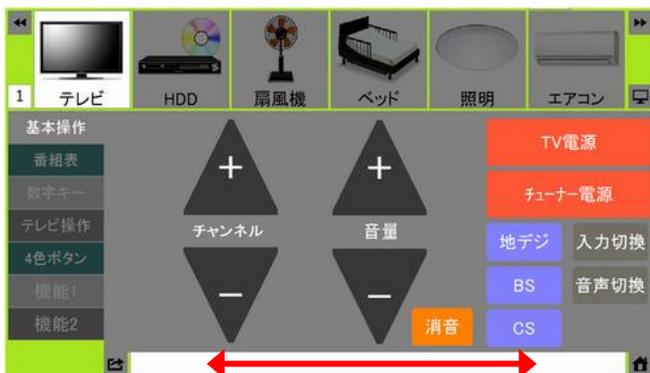
6. 設定画面

システム起動直後は、リモコン機器を操作する「操作モード」になっています。リモコン機器の登録、通信の設定などを行うには、「設定モード」に変更する必要があります。

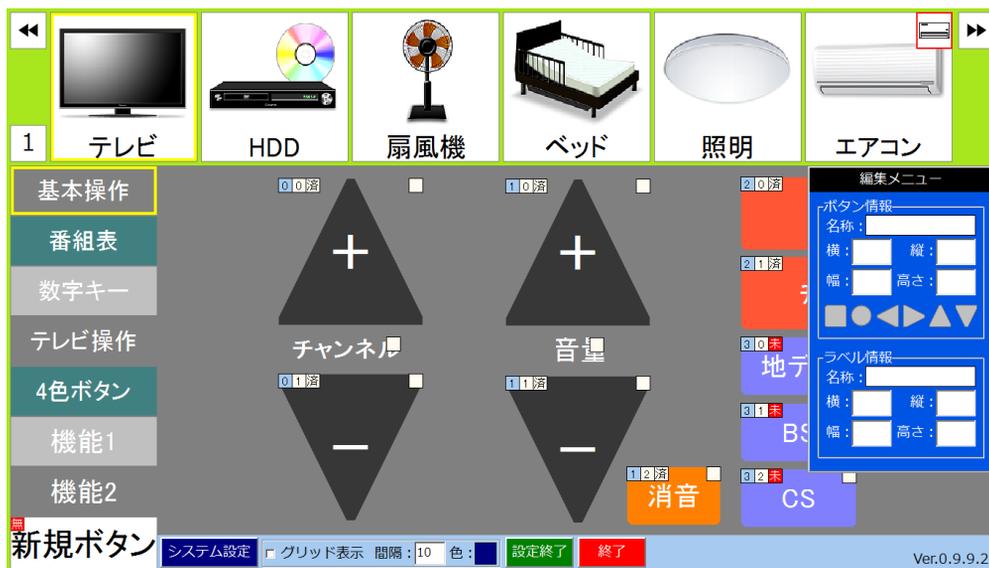
(1) 設定モードへの移行

下記いずれかの方法で操作モードから設定モードに変更します。

- ・キーボードから「Ctrl」キーと「S」キーを同時に押す。
- ・画面下のメッセージ表示エリアを右もしくは左にドラッグする。



メッセージ表示エリアをドラッグ



設定モード画面

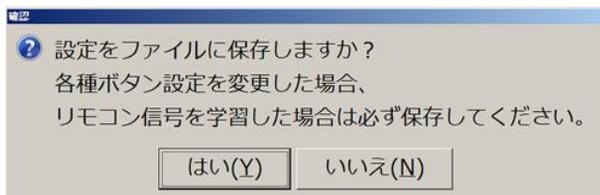


(2) 操作モードへの復帰

①設定モード画面下の「設定終了」を押します。



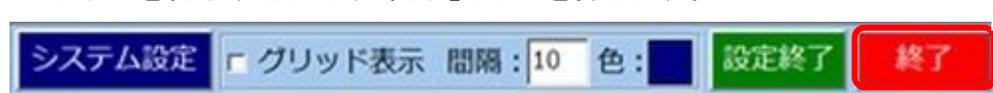
②メッセージが表示されますので、設定した内容を保存する場合は、「はい(Y)」を、保存しない場合は、「いいえ(N)」を押して操作モードに戻ります。



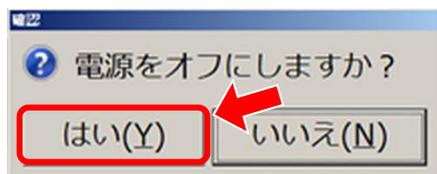
メッセージ

(3) 終了

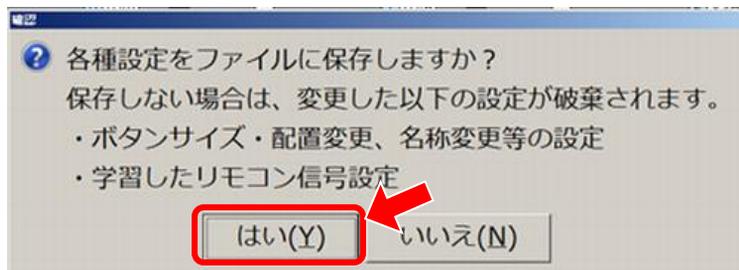
プログラムを終了するには、「終了」ボタンを押します。



終了確認のメッセージが表示されますので、プログラムを終了する場合は、「はい(Y)」を押します。更に保存確認メッセージが表示されて設定を保存するかどうかを聞いてきますので、保存する場合は「はい(Y)」を押します。



終了確認メッセージ



保存確認メッセージ

6-1. 設定画面の基本操作

(1) 入力操作

設定画面での選択、入力等の操作は、以下の3通りの方法で行うことができます。

■タッチパネル

タッチパネル画面を直接タッチして操作することができます。

■キーボード

本体にUSBキーボードを接続することにより、キーボードから入力することができます。

選択:カーソル右、決定:Delete で操作できます。

■マウス

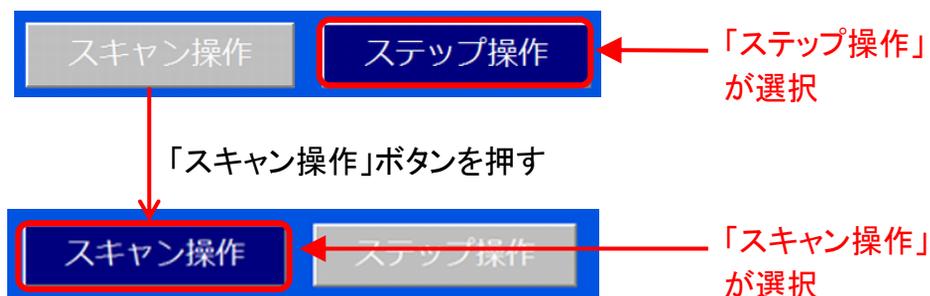
本体にUSBマウスまたはマウス代替装置を接続することにより、マウスで操作することができます。

以下の説明では、タッチパネルへのタッチ、キーボードからの入力、マウスのクリック操作を全て「押す」という表現で記載します。

(2) 選択操作

設定時のボタン選択については、背景が灰色で文字が白のボタンが非選択を表し、背景が青色で文字が白のボタンが選択されていることを意味します。

(例)



(3) 色の設定

色を設定する操作では、色ボタンを押すと「色の設定」画面が表示されます。

色は、基本色から選ぶか、もしくは、色を作成することができます。

(例)



色の設定

①基本色の設定

基本色は48種類あり、いずれかの色ボタンを選択します。

②色の作成

赤、緑、青の数値をそれぞれ0～255の範囲で設定すると右のボタン色が数値に応じた色に変わります。良ければ右のボタンを押します。



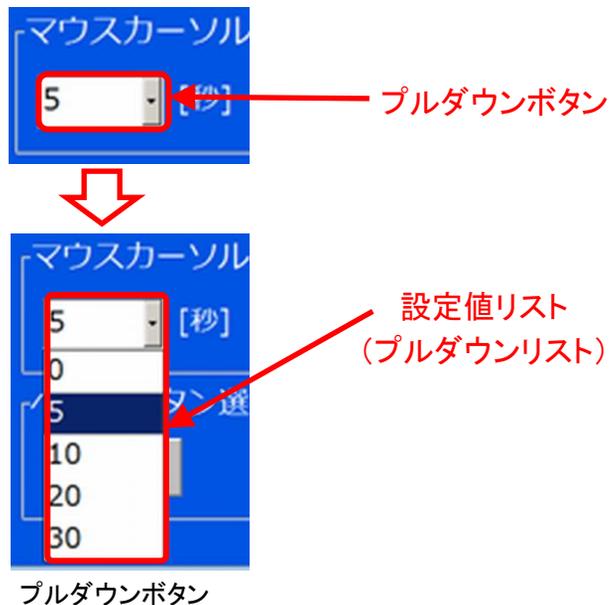
色の作成

③保存

基本色で色を選択もしくは、色の作成を行った後、「保存する」を押すと設定した色が反映され、「キャンセル」を押すと色は変更されずに「色の設定」画面が閉じます。

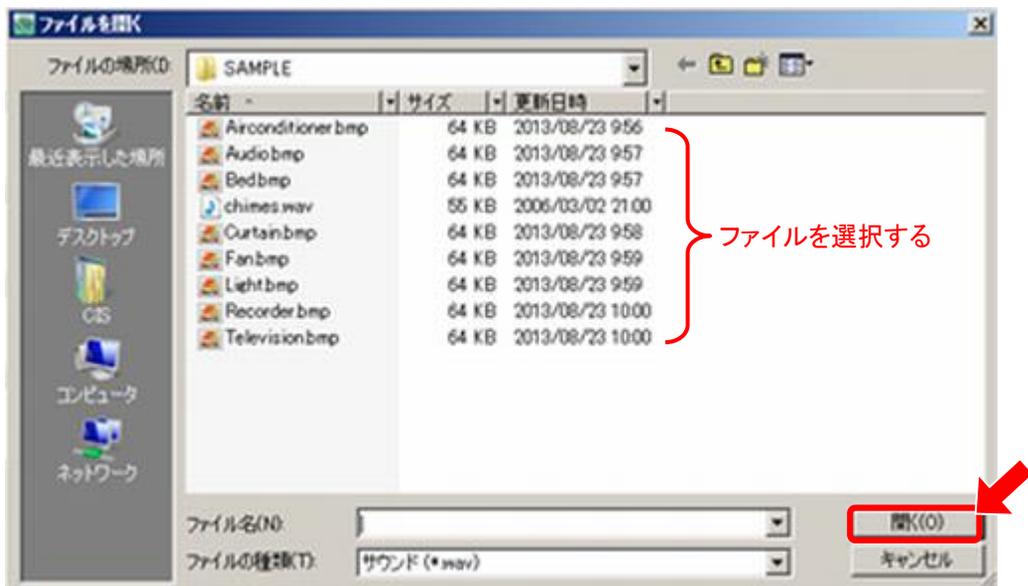
(4) プルダウンボタン

プルダウンボタンは、ボタン内に複数の設定値がリスト形式で入っており、ボタンを押すと設定値リスト(プルダウンリスト)が表示されますので、いずれかの設定値を選択します。



(5) ファイル選択操作

ボタンを押したときに、ファイルを選択する画面が出てきた場合は、エクスプローラーの操作と同様にフォルダを指定してファイルを選択後、「開く(O)」を押します。



ファイル選択ウィンドウ

6-2. システム設定

設定モード画面下の「システム設定」ボタンを押すとシステム設定画面が表示されます。



システム設定画面

システム設定画面では、操作の設定、通信設定などシステムに関する設定を行うことができます。各設定ボタンを押すとその設定画面が表示されます。

設定	内 容
操作設定	スキャン操作、ステップ操作を選択します。
画面設定	画面の背景色、解像度、ページボタンの拡大表示などの設定を行います。
選択枠設定	ボタンの選択枠の色や線の太さを設定します。
通信設定	通信ポートの設定を行います。
音設定	ボタン操作、スキャン操作時の音を設定します。

設定の内容

設定したデータを保存してシステム設定画面を終了するには、画面右上の「保存する」を押します。

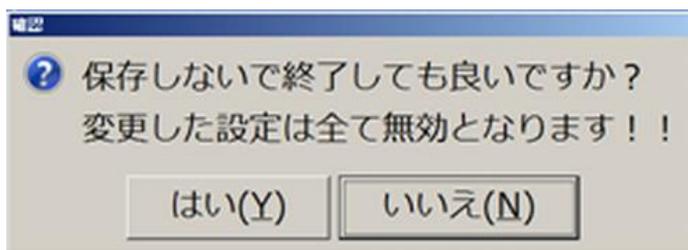
システム設定画面

キャンセル

保存する

システム設定画面の「キャンセル」、「保存する」

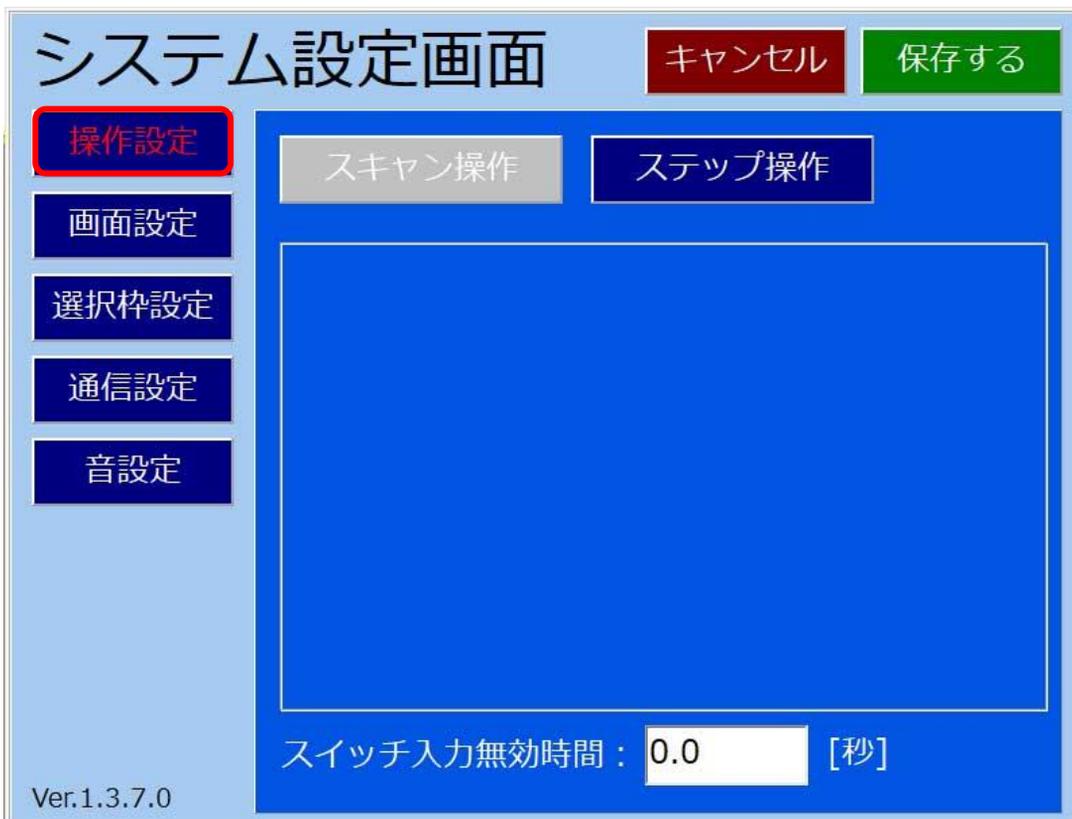
「キャンセル」を押したとき、以下のメッセージが表示されます。
保存しないで終了する場合は、「はい(Y)」を、保存する場合は「いいえ(N)」を押した後に戻った画面で「保存する」を押します。



メッセージ表示

6-2-1. 操作設定

「操作設定」ボタンを押すと操作設定画面が表示されます。



操作設定画面

操作設定画面では、スキャン操作とステップ操作の設定を行います。

設定	内 容
スキャン操作	操作画面でボタンを自動的に移動させます。スイッチを1つだけで機器操作を行う場合に使用します。
ステップ操作	操作画面でボタンは移動しません。スイッチを2つ使用して機器操作を行う場合に使用します。
スイッチ入力無効時間	短い間に連続して入力された場合に、入力を無効とする機能です。数値を大きくすると無効と判定する時間が長くなります。

- (1) スキャン操作設定
以下の設定を行います。

番号	設定	内 容
①	移動時間設定	スキャン(操作時にボタンが移動する)時間を設定します。1(速い)~5(遅い)の間で設定できます。
②	移動方向	スキャンの移動方向を設定します。正順(左から右、上から下)、もしくは逆順(右から左、下から上)に設定できます。
③	ループ回数	スキャンする周期の回数を設定します。0回の設定はスキャンをやり続けます。
④	選択移動	「ON」設定で、リモコン信号送信後にグループを自動的に抜けます。
⑤	移動待機時間	リモコン信号送信後にスキャンを再開するまでの時間を設定します。1~5秒の間で設定できます。

スキャン操作設定

システム設定画面

キャンセル 保存する

操作設定
画面設定
選択枠設定
通信設定
音設定

スキャン操作 ステップ操作

① 移動間隔時間 : 3 (1:速い - 5:遅い)

② 移動方向 : 正順

③ ループ回数 : 0 [回]

④ 選択移動 : OFF

⑤ 移動待機時間 : 1.0 [秒]

スイッチ入力無効時間 : 0.0 [秒]

Ver.1.3.7.0

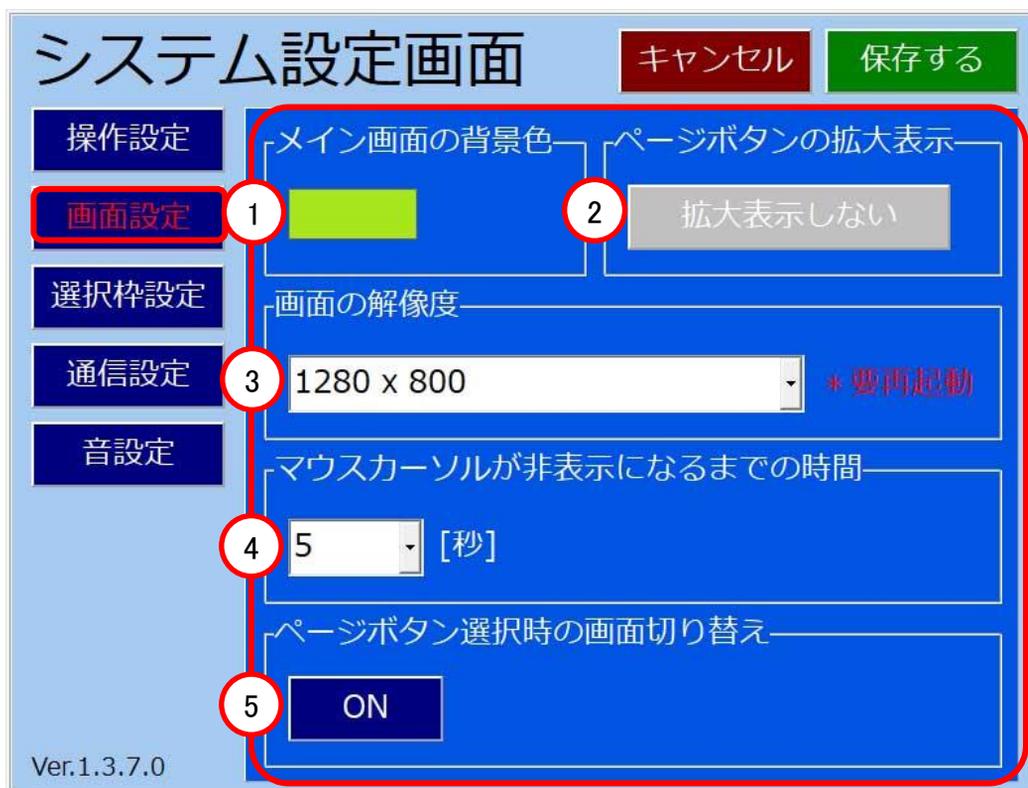
スキャン操作設定画面

6-2-2. 画面設定

「画面設定」を押すと画面設定の画面が表示され、以下の設定を行います。

番号	設定	内 容
①	メイン画面の背景色	操作モード時の背景色を設定します。
②	メイン画面の解像度	本体画面の解像度を設定します。通常は設定する必要はありません。
③	ページボタンの拡大表示	操作モード時の大分類エリアで、スキャンする際にページボタンを拡大する／しないの設定をします。
④	マウスカーソルが非表示になるまでの時間	マウスカーソルが非表示になるまでの時間を設定します。0秒でマウスカーソルは表示したままとなります。
⑤	ページボタン選択時の画面切り替え	ページボタンがスキャンする際、小分類エリアの表示を表示／非表示に設定します。ちらつきが気になるなどの場合に使用します。

画面設定内容



画面設定画面

- (1) メイン画面の背景色
ボタンを押して色を変更します。



メイン画面の背景色

- (2) メイン画面の解像度
本体の解像度に合わせてプルダウンリストから設定します。通常は設定する必要はありません。変更後は本体の再起動が必要です。

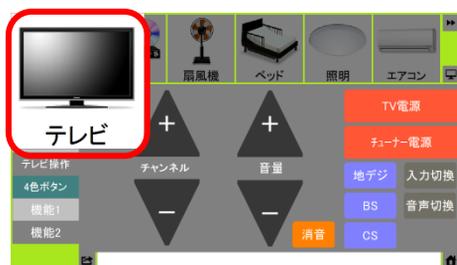


メイン画面の解像度

- (3) ページボタンの拡大表示
ボタンを押すと 拡大表示する / しない が切り替わります。



ページボタンの拡大表示

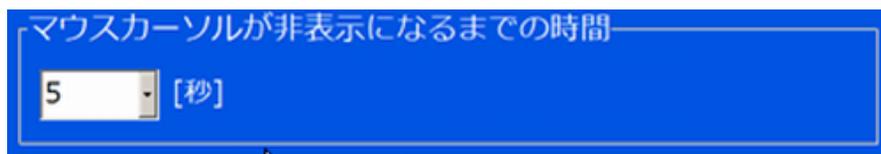


ページボタン拡大表示

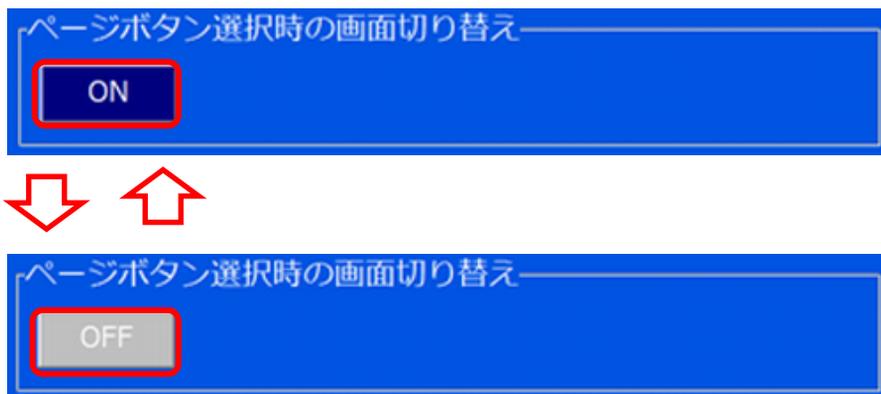


ページボタン通常表示

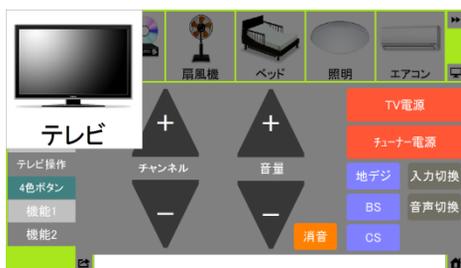
- (4) マウスカーソルが非表示になるまでの時間
プルダウンリストから時間を選択します。



- (5) ページボタン選択時の画面切り替え
ボタンを押すと小分類エリアの表示がON(表示)／OFF(非表示)に切り替わります。



ページボタン選択時の画面切り替え



ON表示



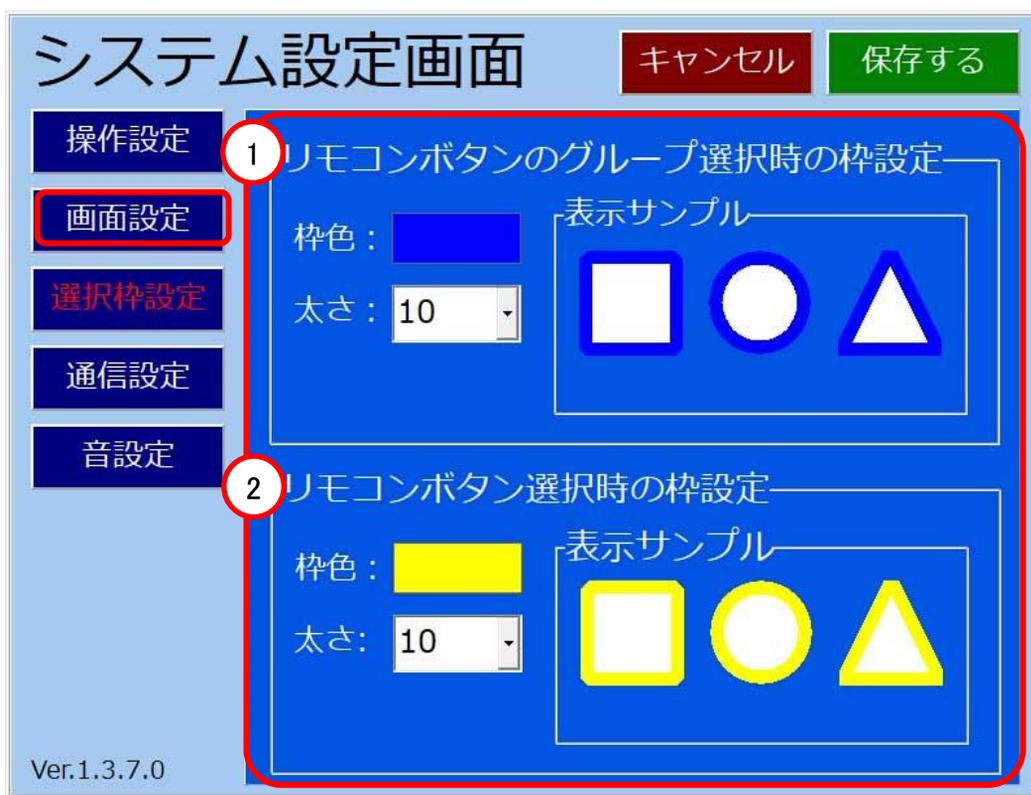
OFF表示

6-2-3. 選択枠設定

「選択枠設定」を押すと選択枠設定の画面が表示され、以下の設定を行います。

番号	設定	内 容
①	リモコンボタンのグループ選択時の枠設定	小分類エリアのリモコンボタンのグループ項目選択時の枠の色と線の太さを設定します。
②	リモコンボタンの選択時の枠設定	小分類エリアのリモコンボタンの選択時の枠の色と線の太さを設定します。

選択枠設定内容

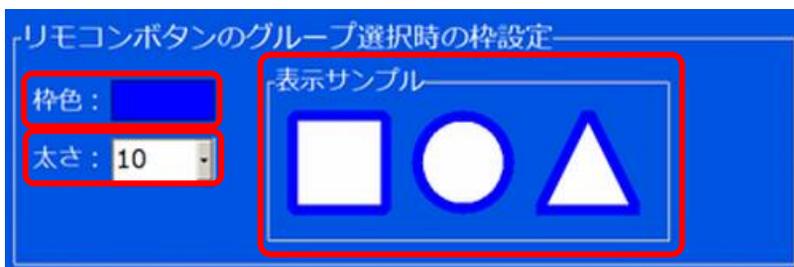


選択枠設定画面

(1) リモコンボタンのグループ選択時の枠設定

枠色ボタンを押して色を設定します。また、太さのプルダウンボタンを押して枠線の太さを設定します。

表示サンプルに設定した色と枠線の太さが表示されます。

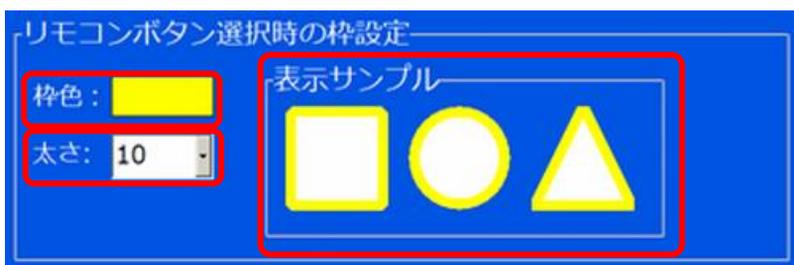


リモコンボタンのグループ選択時の枠設定

(2) リモコンボタンの選択時の枠設定

枠色ボタンを押して色を設定します。また、太さのプルダウンボタンを押して枠線の太さを設定します。

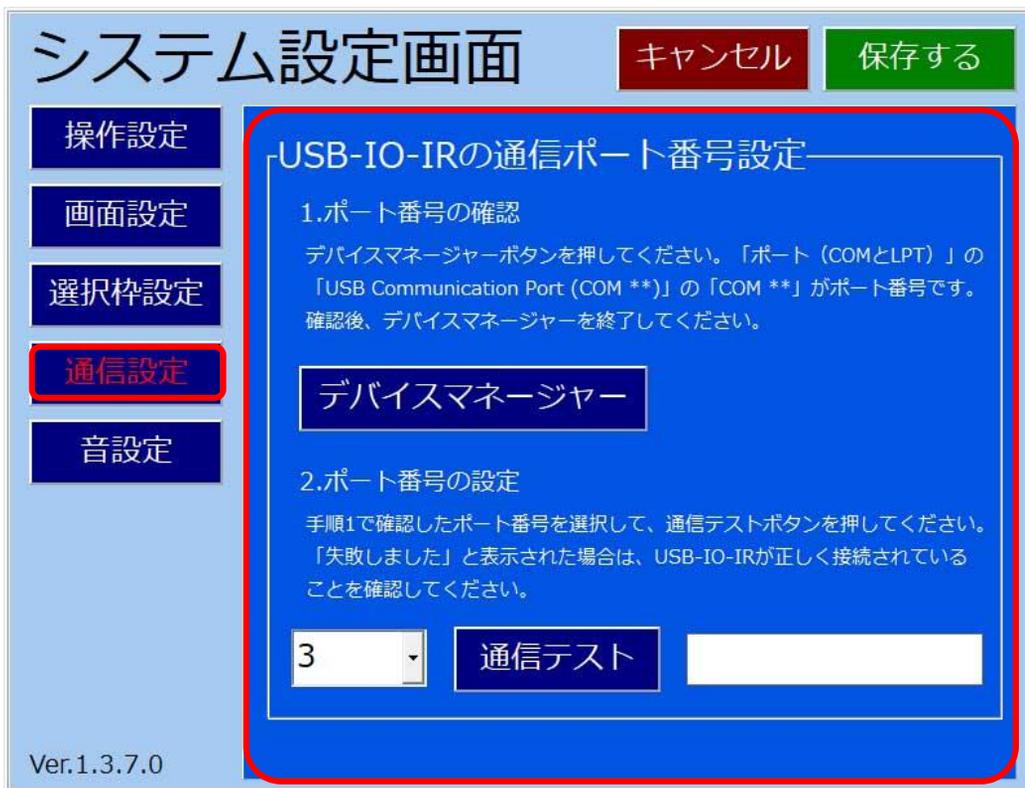
表示サンプルに設定した色と枠線の太さが表示されます。



リモコンボタンの選択時の枠設定

6-2-4. 通信設定

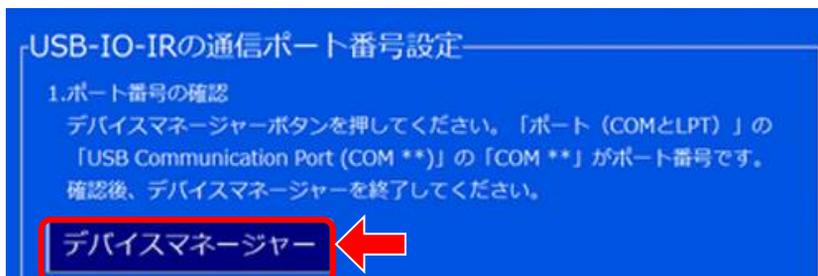
本体と制御ボックス間の通信に必要な設定を行います。



通信設定画面

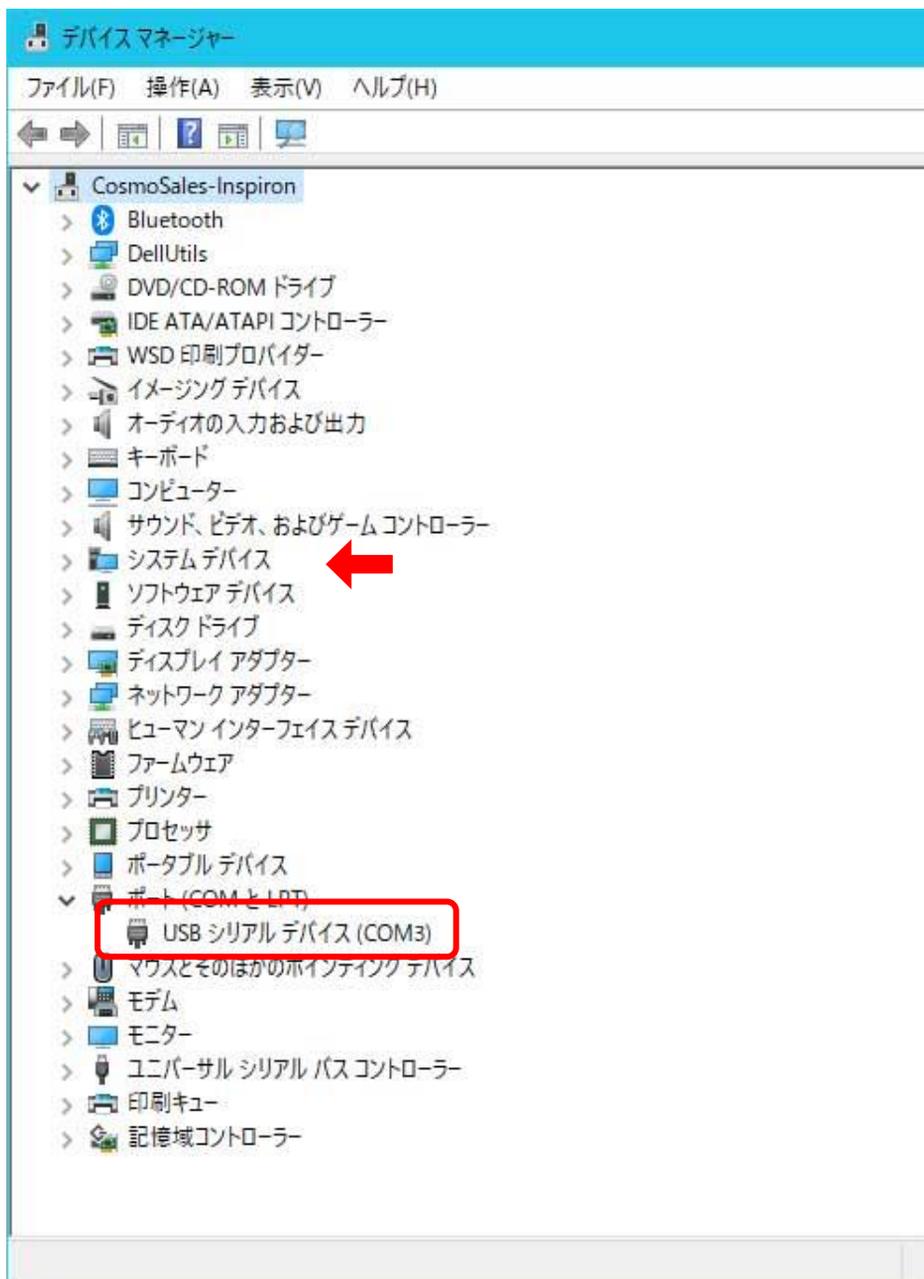
(1) COMポート番号の確認

- ①画面の「デバイスマネージャー」ボタンを押します。
(このとき、権限の許可が求められた場合は、許可して続行してください。)



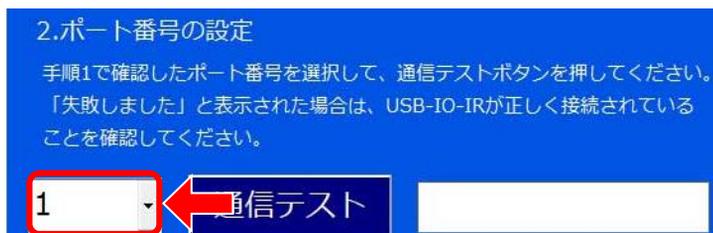
ポート番号の確認

- ② デバイスマネージャーが表示されます。この画面で「ポート (COMとLPT)」の [USB Communications Port (COM **)] の [**] が COM ポート番号になりますのでメモしておきます。

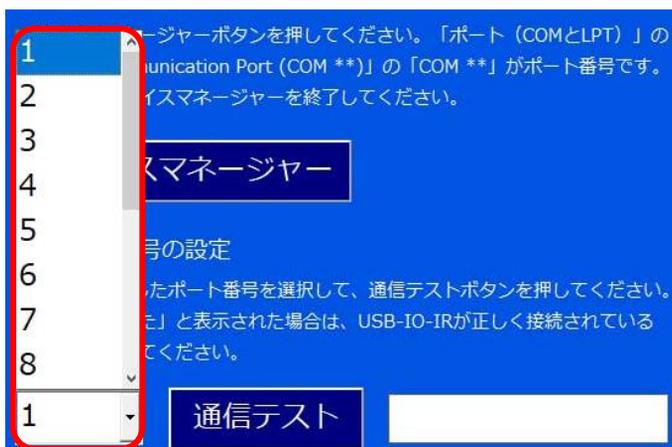


デバイス マネージャー

- ③COMポート番号を選択するプルダウンボックスを押すと番号のリストが表示されますので、②でメモした番号を選択します。



COMポート番号の選択



プルダウンリスト

- ④「通信テスト」ボタンを押すと「成功しました」のメッセージが表示されます。



- ⑤「失敗しました」のメッセージが表示された場合、制御ボックスの電源が入っていないか、COMポート番号が間違っていないか確認して再度①からやり直して下さい。



6-2-5. 音設定

「音設定」ボタンを押すと音設定の画面が表示され、設定を行います。

番号	設定	内 容
①	ボタンを操作した時の音設定	ボタンを操作した時に 音を出さない／登録した合成音声を使用する／登録したWaveファイルを使用するのいずれかを設定します。
②	スキャン操作中の音設定	スキャン操作中に、枠が移動したことを音で知らせることができます。音なし／登録したWaveファイルを使用する のいずれかを設定します。

音設定内容



音設定画面

(1) ボタンを操作した時の音設定

「なし」、「音声」、「Wave」のいずれかのボタンを押します。

「Wave」ボタンを押した時のみファイル選択画面が開きますので、拡張子「.wav」のファイルを選択します。

(2) スキャン操作中の音設定

「なし」、「Wave」のいずれかのボタンを押します。

「Wave」ボタンを押した時のみファイル選択画面が開きますので、拡張子「.wav」のファイルを選択します。

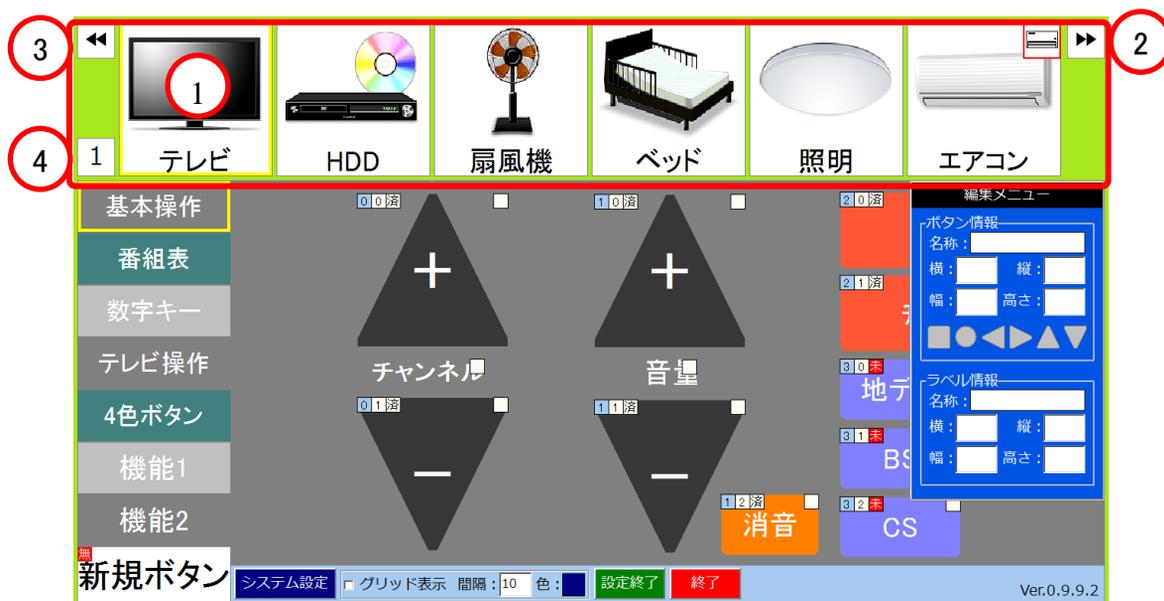
6-3. 画面設定

6-3-1. ページボタンの設定

設定モード画面の大分類にあるページボタンは、1ページに6個設定可能で4ページ分あり、合計24個のページボタンが設定可能です。

番号	名称	内 容
①	ページボタン	リモコン制御を行う機器のボタンです。表示内容を編集することができます。
②	ページ送り	次のページに移動します。
③	ページ逆送り	前のページに移動します。
④	ページ番号	現在表示されているページの番号です。

大分類の説明



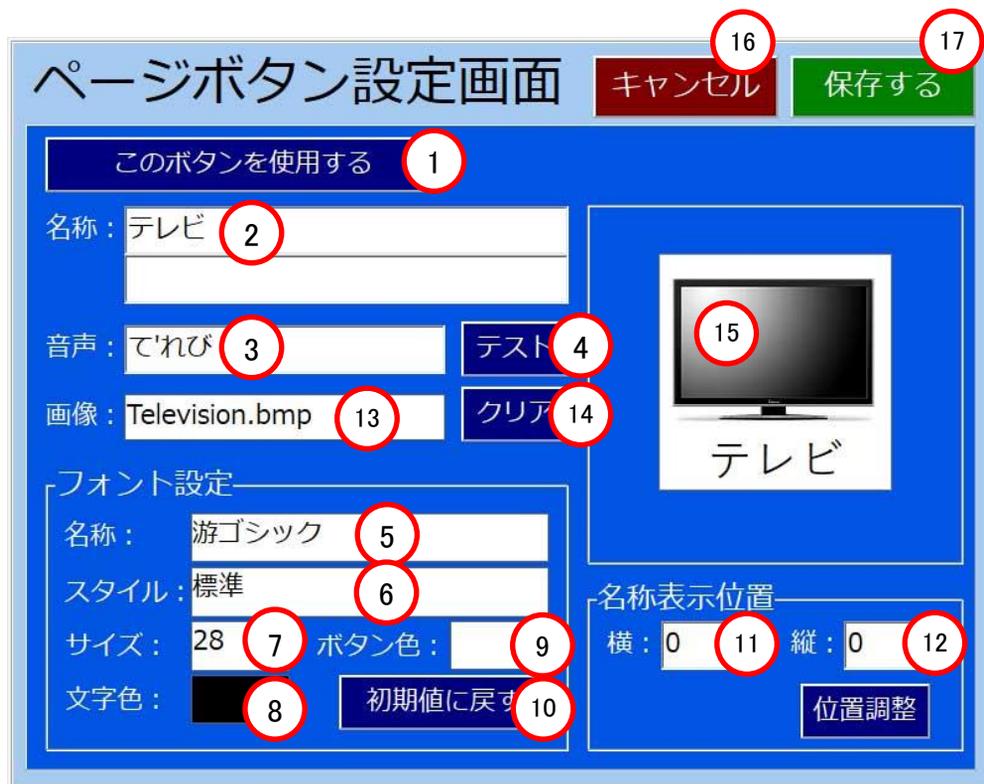
設定モード画面・大分類

(1) ページボタンの編集

設定するページボタンを「右クリック→設定画面を開く」でページボタン設定画面が開きます。



設定画面を開く



ページボタン設定画面

番号	名称	内 容
①	ボタン使用／不使用	ページボタンを「使用する」で有効に、「使用しない」で無効に設定します。
②	表示設定	: 名称
③		: 音声
④		: テスト
⑤	フォント設定	: 名称
⑥		: スタイル
⑦		: サイズ
⑧		: 文字色
⑨		: ボタン色
⑩		: 初期値 に戻す
⑪	名称 表示位置	: 横
⑫		: 縦
⑬	表示設定: 画像	ページボタンに表示する画像を設定します。ダブルクリックするとファイル選択のウィンドウが開きますので、使いたい画像を選択します。bmp以外にjpg,png形式の画像が使用可能です。
⑭	表示設定: クリア	画像を消去します。
⑮	表示イメージ	設定したカテゴリボタンのイメージを表示します。
⑯	キャンセル	設定したデータを保存せずにページボタン設定を終了します。
⑰	保存する	設定したデータを保存してページボタン設定を終了します。

(2) ページ送り

「▶▶」を押すと次のページに進みます。



ページ送り 次ページ

(3) ページ逆送り

「◀◀」を押すと前のページに戻ります。



ページ送り 前ページ

(4) ページ番号

表示されているページボタンのページ番号を表示しています。

ページは1ページから4ページまであります。



ページ番号

(5) ページボタン並び順変更

ボタンの並び順を一括で変更します。



ページボタン設定画面

各ボタンを上から下にドラッグして、最後に「保存する」を押します。

ページボタン並び順設定画面 キャンセル 保存する

ボタンをドラッグ&ドロップして、下の枠に並び替えてください。

変更前：ページ1

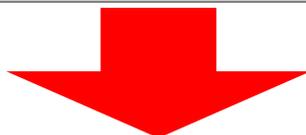
◀							▶
テレビ	HDD	照明	ベッド	扇風機	エアコン		

↓ コピー

変更後：ページ1

◀							▶
---	--	--	--	--	--	--	---

リセット



ページボタン並び順設定画面 キャンセル 保存する

ボタンをドラッグ&ドロップして、下の枠に並び替えてください。

変更前：ページ1

◀							▶
---	--	--	--	--	--	--	---

↓ コピー

変更後：ページ1

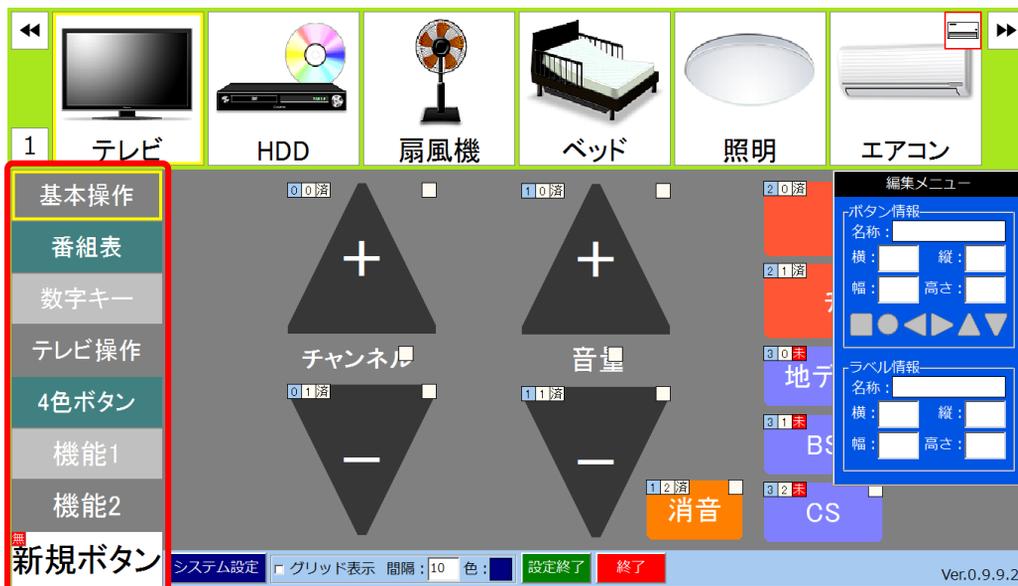
◀							▶
テレビ	エアコン	扇風機	照明	ベッド	HDD		

リセット

ページボタン設定画面

6-3-2. カテゴリボタンの設定

設定モード画面の左側にあるカテゴリボタンは8個まで登録可能で個別に設定できます。



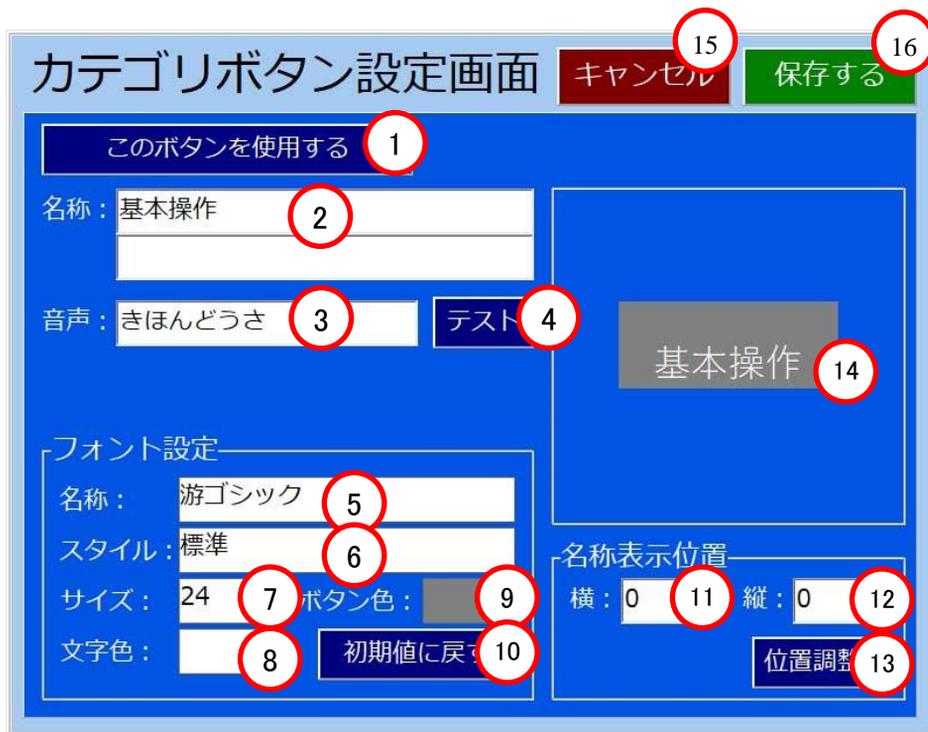
中分類エリアのカテゴリボタン

(1) カテゴリボタンの編集

設定するカテゴリボタンをダブルクリックもしくは「右クリック→設定画面を開く」でカテゴリボタン設定画面が開きます。



カテゴリボタンの編集



カテゴリボタン設定画面

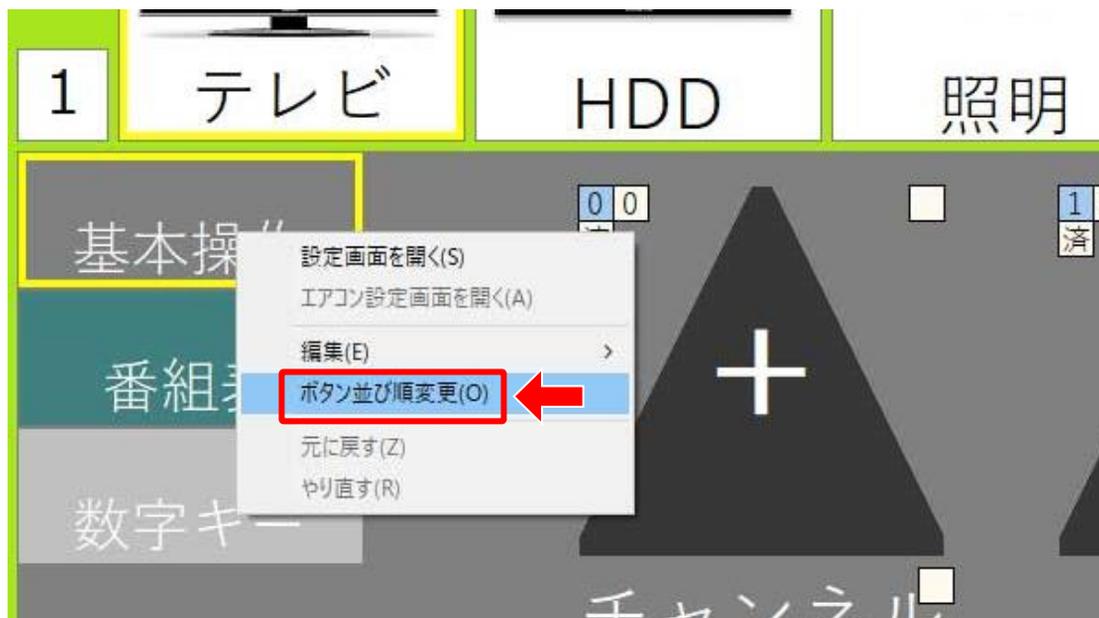
番号	名称	内 容
①	ボタン使用／不使用	ページボタンを「使用する」で有効に、「使用しない」で無効に設定します。
②	表示設定: 名称	ページボタンの名称をキーボードから入力して設定します。
③	表示設定: 音声	音声合成で発音させる文字列をひらがなで入力します。
④	表示設定: テスト	③で入力した文字列を発音させます。
⑤	フォント設定: 名称	②で入力した文字のフォントを設定します。
⑥	フォント設定: スタイル	
⑦	フォント設定: サイズ	
⑧	フォント設定: 文字色	

カテゴリボタンの説明(1/2)

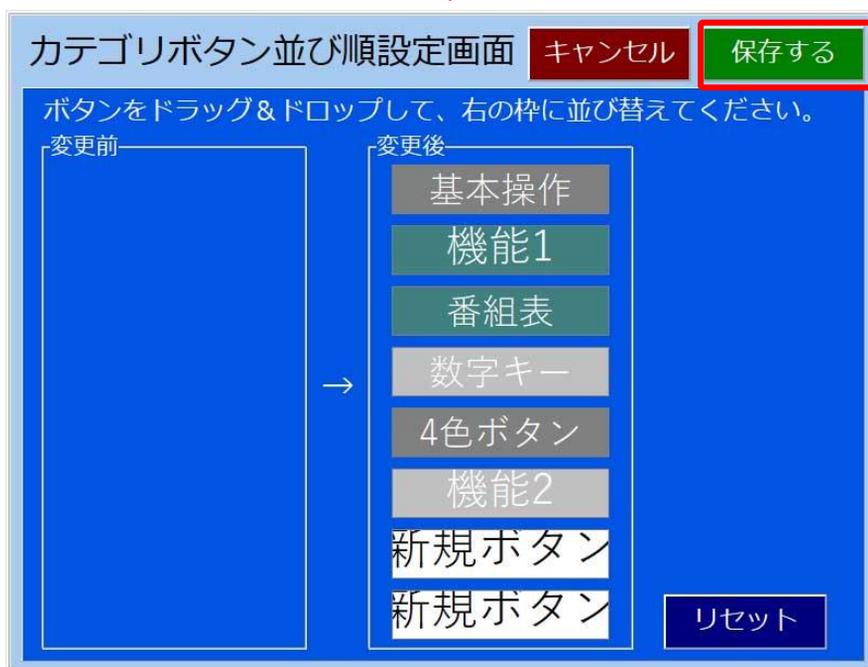
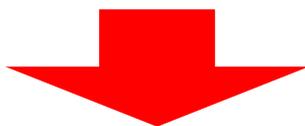
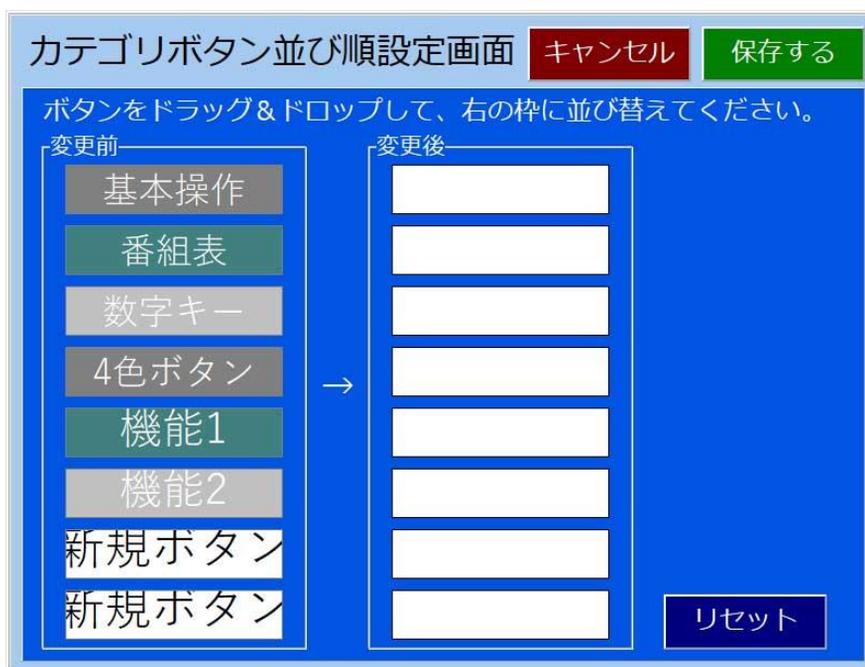
番号	名称	内 容
⑨	フォント設定:ボタン色	②の文字列の背景色を設定します。
⑩	フォント設定:初期値に戻す	フォントを初期値に戻します。 (游ゴシック、28pt)
⑪	名称表示位置:横	②の文字列が表示される横位置を設定します。 0が中央、マイナスが左、プラスが右になります。
⑫	名称表示位置:縦	②の文字列が表示される縦位置を設定します。 0が中央、マイナスが上、プラスが下になります。
⑬	名称表示位置:位置調整	②の文字列が表示される位置を右、左、左右中央および上、下、上下中央で設定します。
⑭	表示イメージ	設定したカテゴリボタンのイメージを表示します。
⑮	キャンセル	設定したデータを保存せずにページボタン設定を終了します。
⑯	保存する	設定したデータを保存してページボタン設定を終了します。

カテゴリボタンの説明(2/2)

- (5) カテゴリボタン並び順変更
ボタンの並び順を一括で変更します。

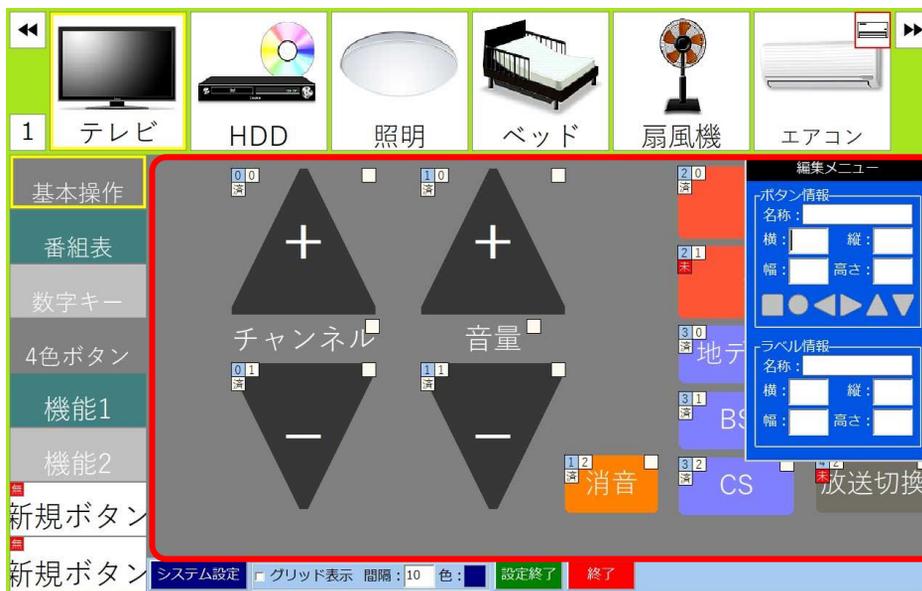


各ボタンを左から右にドラッグして、最後に「保存する」を押します。



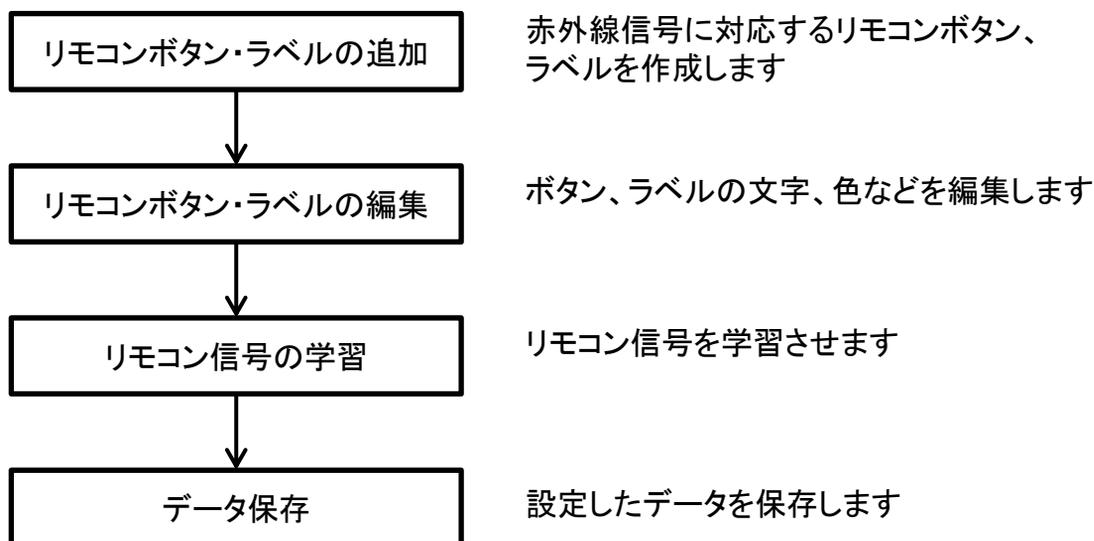
6-3-3. リモコンボタンの設定

設定モード画面の小分類エリアに表示されるリモコンボタンは、最大で30個まで設定可能です。



小分類エリアのリモコンボタン

リモコンボタンは、以下のような流れで設定します。



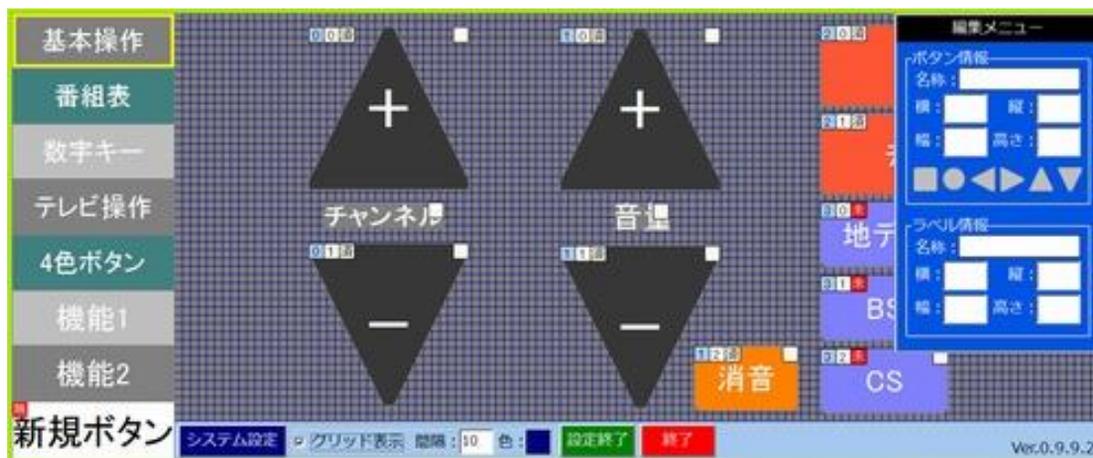
6-3-3-1. グリッドの設定

(1) グリッドの表示

小分類エリアの下側にある「グリッド表示」のチェックボックスにチェックを入れるとグリッド（作図を補助するための縦横の線）が表示されます。チェックを外すとグリッドは消えます。



グリッド表示チェックボックス



グリッドの表示

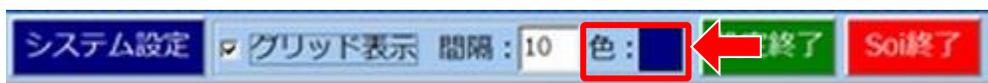
(2) グリッド線の間隔設定

グリッド線の間隔を指定します。縦線と横線で同じ間隔になります。



(3) グリッドの色設定

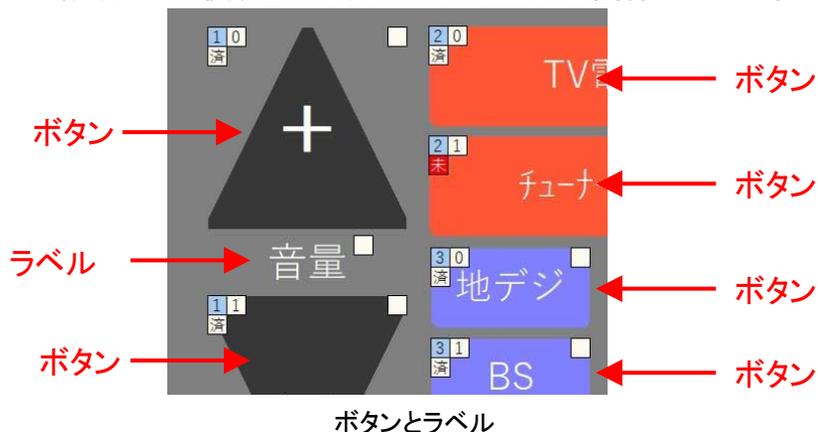
グリッド線の色を指定します。



6-3-3-2. 基本的なリモコンボタン画面の操作説明

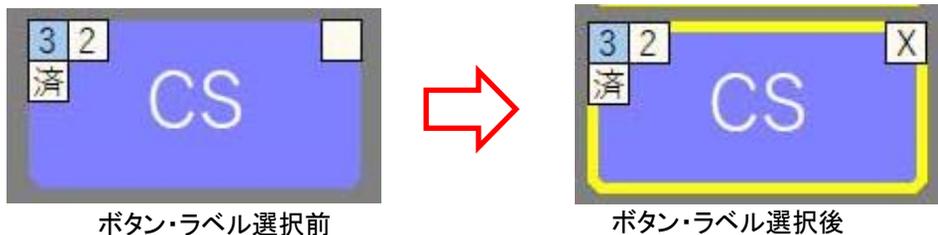
(1) ボタンとラベル

リモコンボタン画面では、ボタンとラベルを設定することができます。
ボタンは、リモコン操作する機器のリモコン信号出力に対応するものです。
ラベルは、ボタンの説明として使うもので、リモコン出力には関係しません。

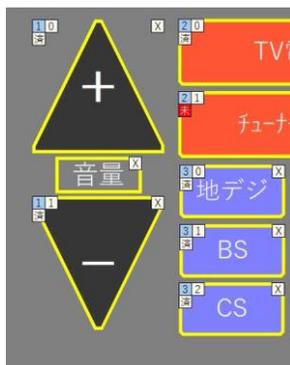


(2) ボタン・ラベルの選択

ボタン・ラベルを選択するには、対象のボタン・ラベルを押します。選択されると黄色枠が表示されるとともに、ボタン・ラベル右上の四角が☒に変わります。



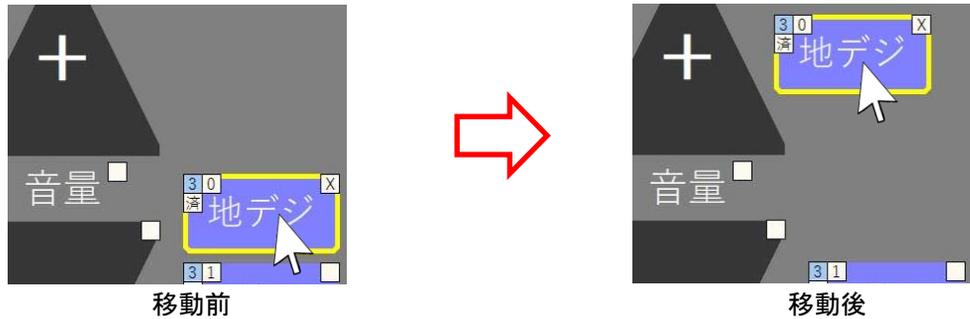
複数のボタン・ラベルを選択するには、シフトキーを押しながらボタン・ラベルを押していきます。複数のボタン・ラベルを選択すると一括で編集作業を行えます。



複数のボタン・ラベル選択

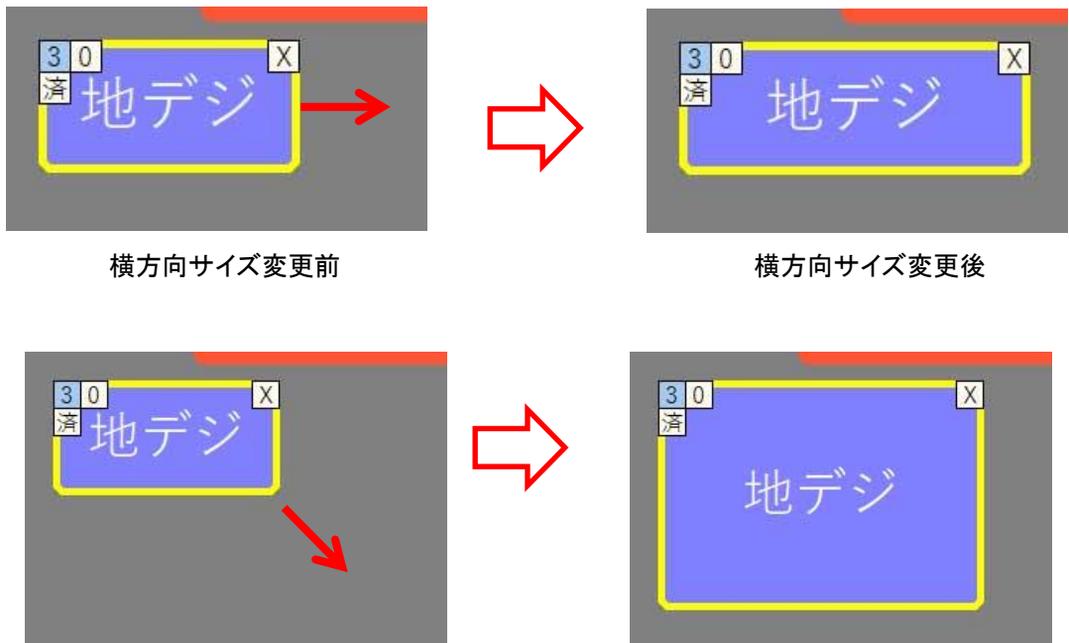
(3) ボタン・ラベルの移動

ボタン・ラベルの位置を変えるには、ドラッグ(ボタン・ラベルを押したままカーソルを移動)します。



(4) ボタン・ラベルのサイズ変更

ボタン・ラベルを選択後、黄色の枠線をドラッグしてサイズを変更します。



6-3-3-3. リモコンボタン画面のポップアップメニュー

(1) ポップアップメニュー(その1)

リモコンボタンおよびラベルのないところを右クリックすると以下に示すポップアップメニューが表示されます。

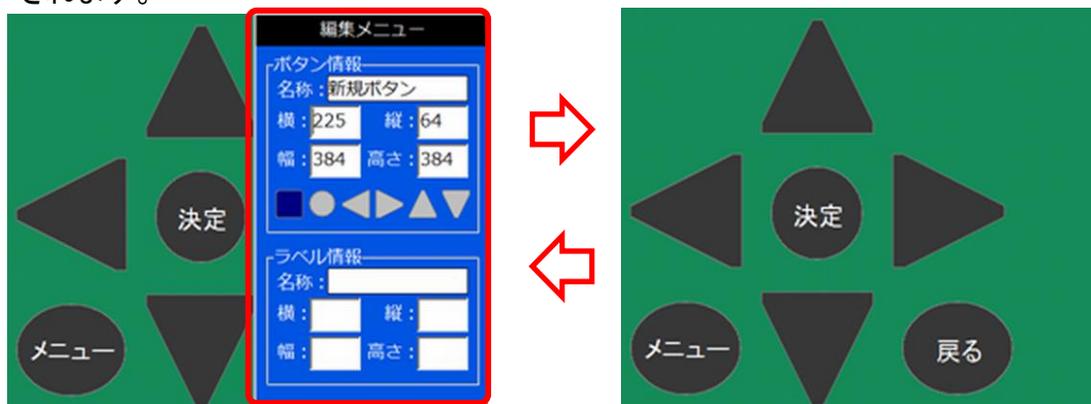
以下、各メニューの説明をします。



ポップアップメニュー(1)

①編集メニューを表示しない(M)

選択すると編集メニューが非表示になります。編集メニューを非表示後、ポップアップメニューから「編集メニューを表示する(M)」を選択すると、編集メニューが再び表示されます。

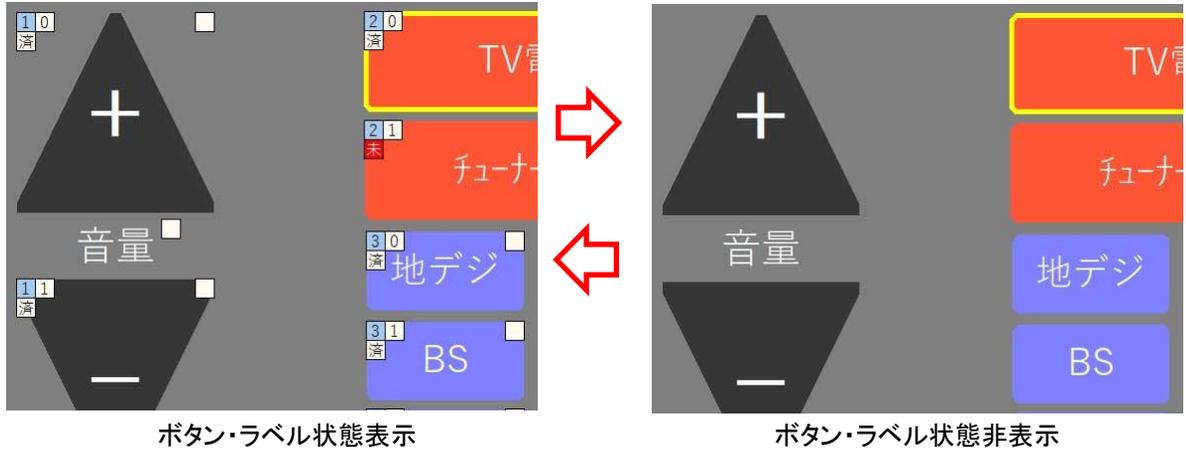


編集メニュー表示

編集メニュー非表示

②ボタン・ラベル状態を表示しない(J)

選択するとボタンとラベル状態が非表示になります。ボタン・ラベル状態を非表示後、ポップアップメニューから「ボタン・ラベル状態を表示する(J)」を選択すると、ボタン・ラベル状態が表示されます。



ボタン状態とは、ボタングループ番号、ボタンの選択順番、リモコン信号の学習状態、ボタンが選択されているかどうかを示すものです。

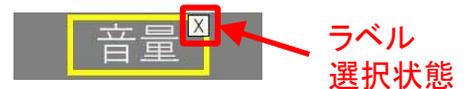
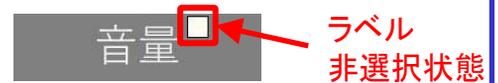
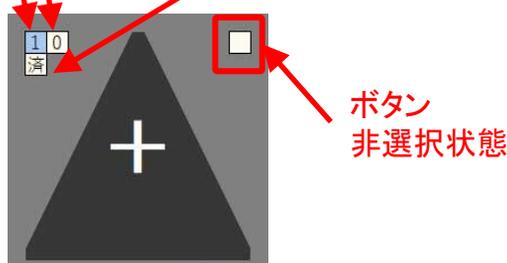
ラベル状態とは、ラベルが選択されているかどうかを示すものです。

なお、ボタン・ラベルが選択されているときは、黄色の枠線も表示されます。

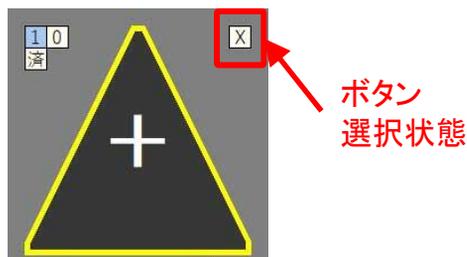
ボタングループ番号

ボタンの選択順番

リモコン信号の学習状態



ラベル状態表示



ボタン状態表示

【ボタングループと選択番号】

リモコンボタンはボタン数が多い場合、操作時のスキャン時間が長くなり、選択したいボタンがなかなか回ってこないという状況が発生します。

このことを少しでも回避したいときにボタングループを使用します。

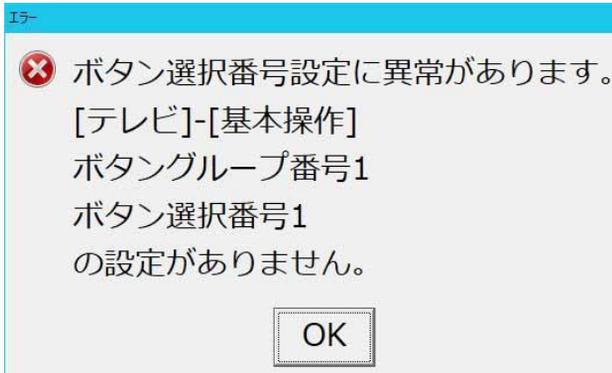
ボタンをいくつかのグループに分けて、更にグループの各リモコンボタンに選択番号を設定しておきます。すると操作時にグループごとでのスキャンを行うようになります。



グループを選択した後は、グループ内のボタンが選択番号順にスキャンしていきますので、選択したいボタンのスキャンが回ってきたときに選択するとリモコン信号が出力されるようになります。

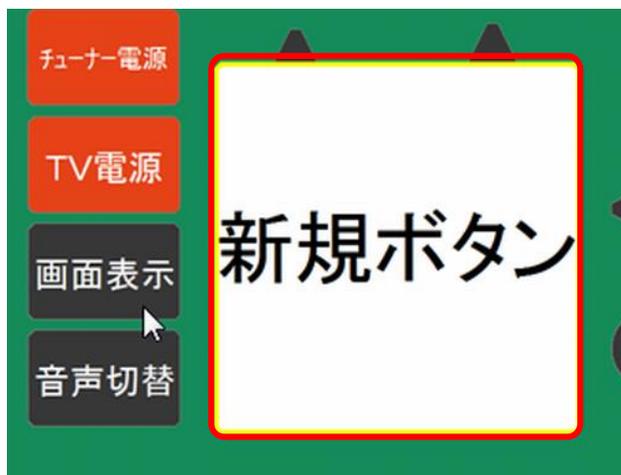


グループ番号、ボタン番号は「0」から設定してください。途中、グループ番号、ボタン番号の値が抜けている場合、右の表示が出ますので、指示に従って設定し直してください。



③ボタンを追加(T)

選択すると新しいボタンが追加されます。新規ボタンの編集は、後述の「6-3-3-4.リモコンボタンの編集と学習」を参照してください。



新規ボタンの追加

④ラベルを追加(Y)

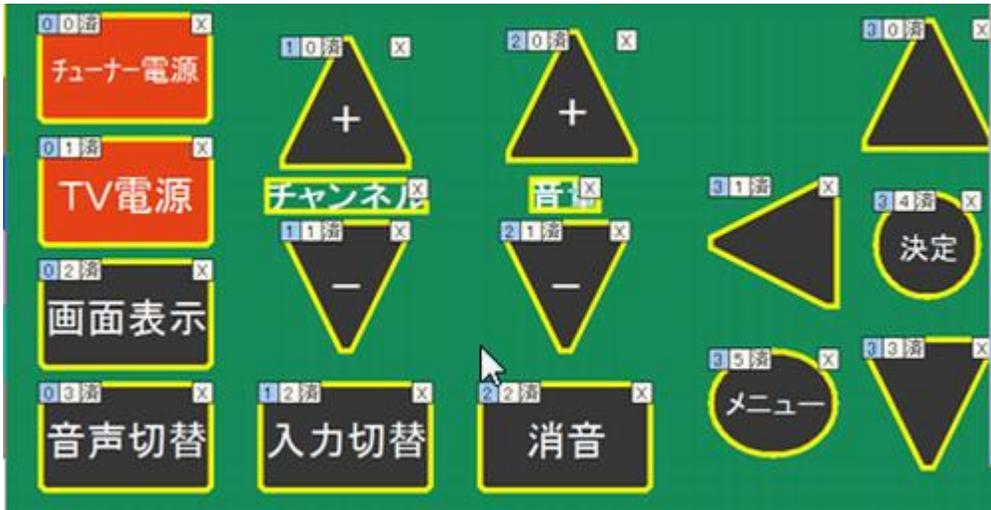
選択すると新しいラベルが追加されます。新規ラベルの編集は、後述の「6-3-3-5.リモコンラベルの編集」を参照してください。



新規ラベルの追加

⑤ 全て選択(A)

選択すると全てのボタンおよびラベルが選択状態になります。
まとめて削除する場合や、一括変更する場合などに使用します。

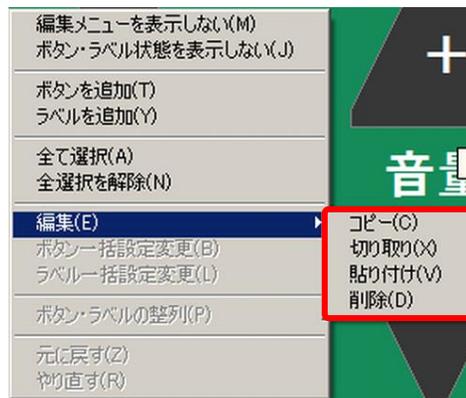


全てを選択した状態

⑥ 編集(E)

選択すると以下のサブメニューが表示されます。

- ・コピー(C): 現在選択しているボタン・ラベルをコピーします。
- ・切り取り(X): 現在選択しているボタン・ラベルを切り取ります。
- ・貼り付け(V): コピーしたボタン・ラベルを貼り付けます。
- ・削除(D): 現在選択しているボタン・ラベルが削除されます。



編集のサブメニュー

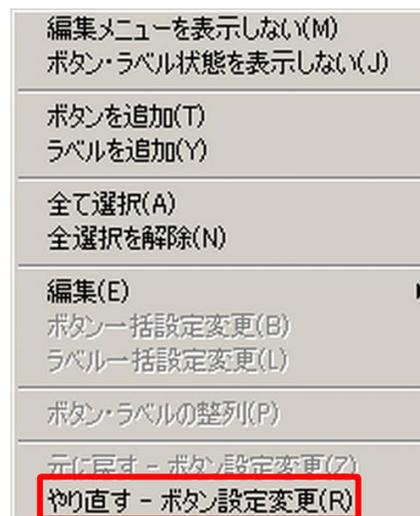
「コピー」されたボタンを「貼り付け」した時、元のボタンに含まれるラベル、色、形が複製されます。(赤外線信号は消去されます)

⑦元に戻す (Z)

ボタン・ラベルの編集操作（後述）を行った後に右クリックでポップアップメニューを表示させると、「元に戻す-ボタン設定変更(Z)」が表示され選択すると編集前のボタン・ラベル編集内容に戻ります。その後、再度ポップアップメニューを表示させると、「やり直す-ボタン設定変更(R)」が表示され、選択すると前に行った操作「元に戻す-ボタン設定変更(Z)」が取り消されます。

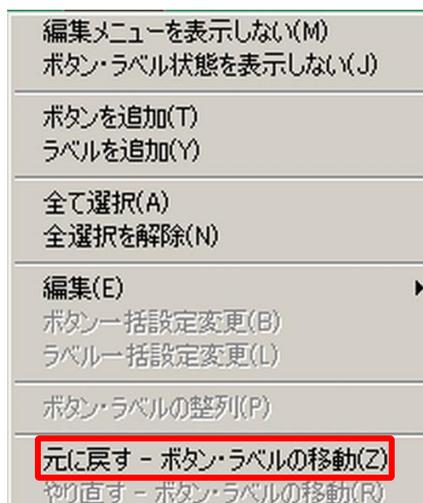


元に戻す-ボタンの設定変更

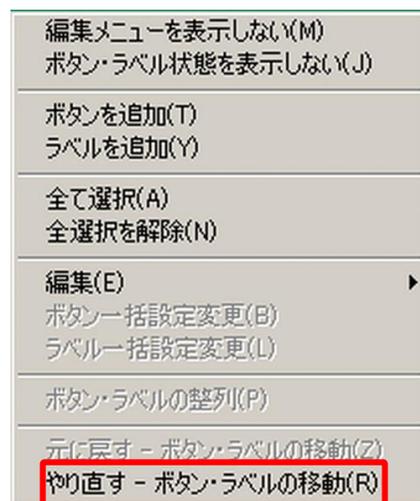


やり直す-ボタンの設定変更

また、ボタン・ラベルの移動操作（前述）を行なった後に右クリックでポップアップメニューを表示させると、「元に戻す-ボタン・ラベルの移動(Z)」が表示され選択すると移動前のボタン・ラベル位置に戻ります。その後、再度ポップアップメニューを表示させると、「やり直す-ボタン・ラベルの移動(R)」が表示され、選択すると前に行った操作「元に戻す-ボタン・ラベルの移動(Z)」が取り消されます。



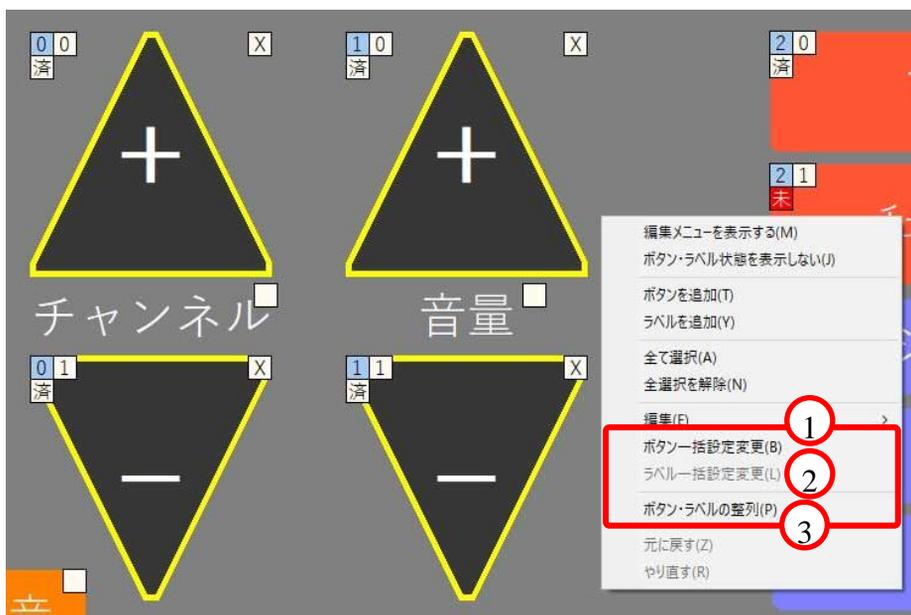
元に戻す-ボタン・ラベルの移動



やり直す-ボタン・ラベルの移動

(2) ポップアップメニュー(その2)

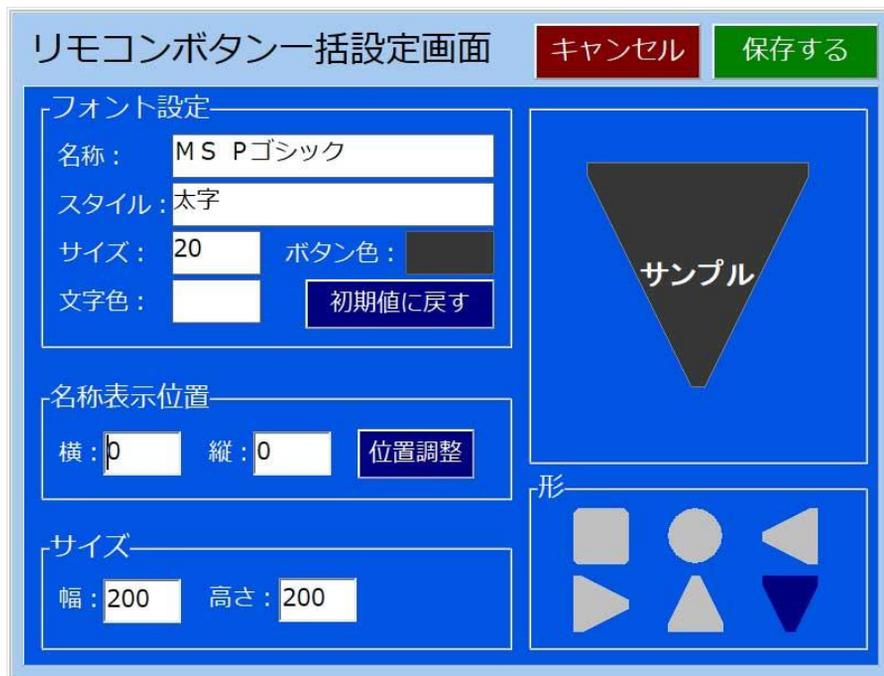
ボタンまたはラベルを2つ以上選択しているときに何もないところを右クリックすると、ポップアップメニューに新しいメニューが表示されます。



ポップアップメニュー(2)

①ボタン一括設定変更(B)

「ボタン一括設定変更(B)」を押すと、リモコンボタン一括設定画面が表示されて、現在選択しているボタンのフォントやボタンの形を変更することができます。



リモコンボタン一括設定画面

②ラベル一括設定変更(L)

「ラベル一括設定変更(L)」を押すと、リモコンラベル一括設定画面が表示されて、現在選択しているラベルのフォントを変更することができます。

The screenshot shows a software interface for bulk setting remote control labels. The title bar reads "リモコンラベル一括設定画面" with "キャンセル" (Cancel) and "保存する" (Save) buttons. The main area is divided into several sections: "フォント設定" (Font Setting) with fields for name (游ゴシック), style (標準), size (30), and label color, plus a "初期値に戻す" (Reset to Default) button; "名称表示位置" (Label Position) with horizontal and vertical offset fields (both 0) and a "位置調整" (Adjust Position) button; and "サイズ" (Size) with width (210) and height (57) fields. A large preview area on the right shows a grey button with the text "サンプル" (Sample).

リモコンラベル一括設定画面

③ボタンラベルの整列(P)

「ボタンラベルの整列(P)」を押すと、リモコンボタン・ラベル 整列画面が表示されて、現在選択しているボタン・ラベルを一括して整列させることができます。

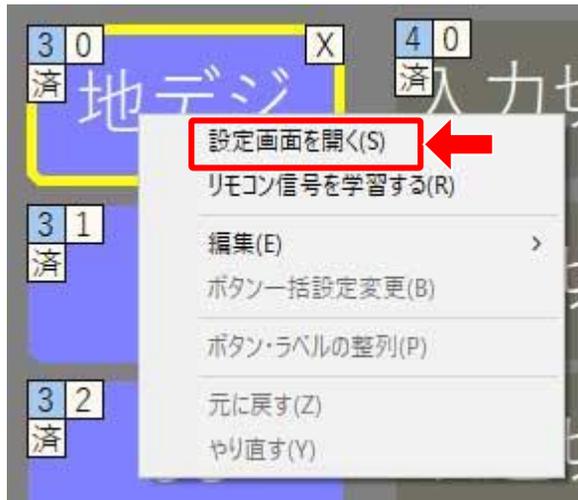
The screenshot shows a software interface for aligning remote control buttons and labels. The title bar reads "リモコンボタン・ラベル整列". It features two main sections: "縦方向" (Vertical Direction) with buttons for "上端" (Top), "中央" (Center), and "下端" (Bottom), and a "合わせない" (Don't Align) button; and "横方向" (Horizontal Direction) with buttons for "左端" (Left), "中央" (Center), and "右端" (Right), and a "合わせない" (Don't Align) button. Below the alignment options are icons showing how two rectangular elements are aligned. A "キャンセル" (Cancel) button is partially visible at the bottom, and a "保存する" (Save) button is at the bottom right.

リモコンボタン・ラベル整列画面

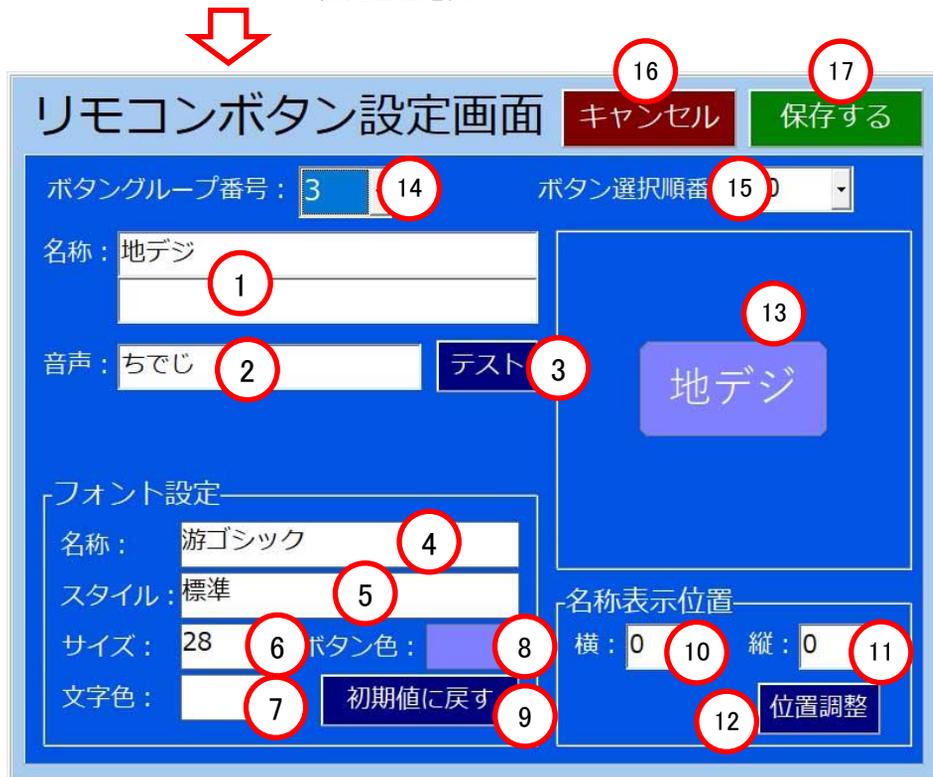
6-3-3-4. リモコンボタンの編集・学習

(1) リモコンボタンの編集

設定するリモコンボタンをダブルクリックもしくは右クリックして「設定画面を開く(S)」を押すと、リモコンボタン設定画面が開きますので、この画面からボタンのフォントや位置を編集します。



設定画面を開く



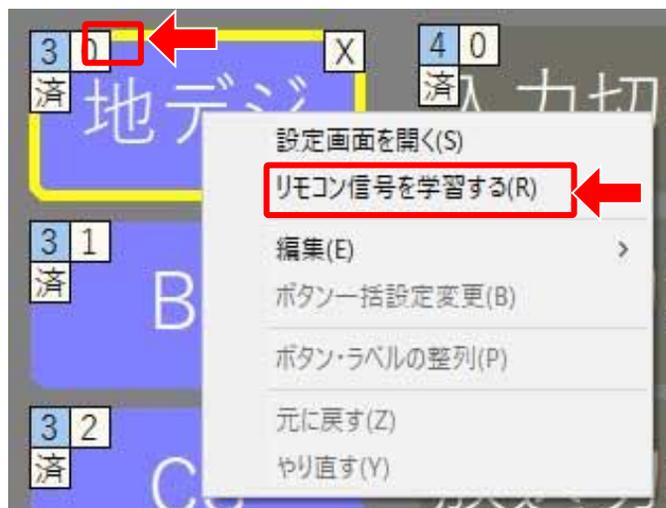
リモコンボタン設定画面

番号	名称	内 容
①	:名称	リモコンボタンの名称をキーボードから入力して設定します。
②	表示設定 :音声	音声合成で発音させる文字列をひらがなで入力します。
③	:テスト	②で入力した文字列を発音させます。
④	:名称	①で入力した文字のフォントを設定します。
⑤	:スタイル	
⑥	:サイズ	
⑦	フォント設定 :文字色	
⑧	:ボタン色	①の文字列の背景色を設定します。
⑨	:初期値に戻す	フォントを初期値に戻します。 (游ゴシック、28pt)
⑩	名称表示位置 :横	①の文字列が表示される横位置を設定します。 0が中央、マイナスが左、プラスが右です。
⑪	:縦	①の文字列が表示される縦位置を設定します。 0が中央、マイナスが上、プラスが下です。
⑫	:位置調整	①の文字列が表示される位置を右、左、左右中央および上、下、上下中央で設定します。
⑬	表示イメージ	設定したリモコンボタンイメージを表示します。
⑭	ボタングループ番号	ボタンをグループ分けした番号を設定します。
⑮	ボタン選択順番号	グループ内のボタンを選択する順の番号を設定します。
⑯	キャンセル	設定したデータを保存せずにページボタン設定を終了します。
⑰	保存する	設定したデータを保存してページボタン設定を終了します。

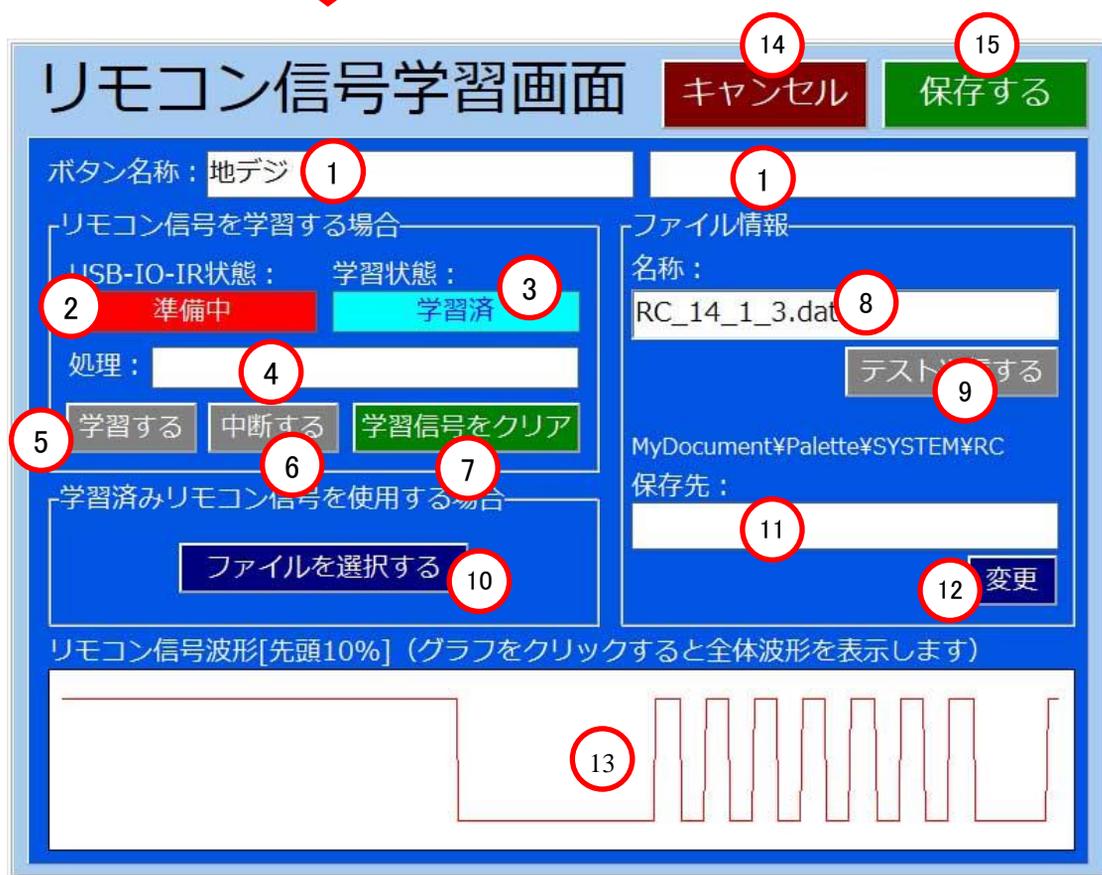
リモコンボタン編集内容

(2) リモコン信号の学習

学習するリモコンボタンの左上にある「済」(または「未」)の四角部分をダブルクリック
もしくは「右クリック→リモコン信号を学習する(R)」でリモコン信号学習画面が開きます。



リモコン信号学習画面を開く



リモコン信号学習画面

番号	名称	内 容
①	ボタン:名称	リモコンボタンの名称が表示されます。 この画面からは変更できません。
②	制御ボックス状態	制御ボックスと本体との通信状態を表示します。 「準備完了」表示のとき学習可能で、「準備中」の場合は「システム設定画面」-「通信設定」で通信状態を確認してください。
③	学習状態	リモコン信号を学習したかどうかを表示します。リモコン信号を正常に学習すると「学習済」が表示されます。
④	処理状態	リモコン信号を学習開始した後の学習状態を表示します。
⑤	学習する	ボタンを押すとリモコン信号の学習が開始されます。
⑥	中断する	⑤の「学習する」ボタンを押した後、このボタンを押すと学習が中断されます。
⑦	学習信号をクリアする	ボタンを押すと学習したリモコン信号がクリア(削除)されます。
⑧	ファイル名	学習済みリモコン信号のファイル名が表示されます。
⑨	テスト送信する	学習したリモコン信号を制御ボックスに接続された赤外線発光ユニットから送信します。確実に学習したかどうかをテストする際に使用します。
⑩	ファイルを選択する	リモコン信号データをファイルから取り込む際に使用します。ボタンを押してファイル名を指定します。
⑪	ファイル名	⑩で設定したファイル名が表示されます。
⑫	リモコン信号保存先フォルダ	「開く」ボタンを押してリモコン信号を保存するフォルダを設定します。通常は操作しません。
⑬	リモコン信号波形	学習したリモコン信号の波形を表示します。この部分を押すと信号の波形を最初から最後まで表示します。
⑭	キャンセル	設定したリモコン信号を保存せずにリモコン信号学習処理を終了します。
⑮	保存する	設定したリモコン信号を保存してリモコン信号学習処理を終了します。

リモコン信号学習画面の説明

【リモコン信号の学習方法(1/2)】

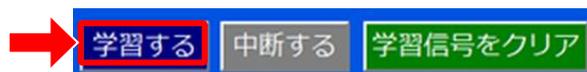
1. 制御ボックスの赤外光入力に学習させるリモコンの発光部を向けます。
リモコンとの距離は5cm以内になるようにします。



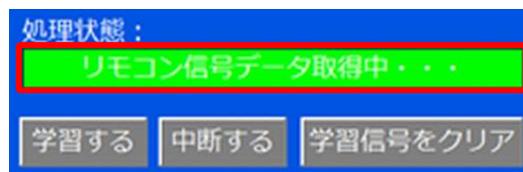
2. リモコン信号学習画面で、「USB-IO-IR状態」が「準備完了」になっていることを確認します。



3. 「学習する」を押すと、「処理状態」が「リモコンのボタンを押して下さい…」に変わりますので、リモコンのボタンを押します。

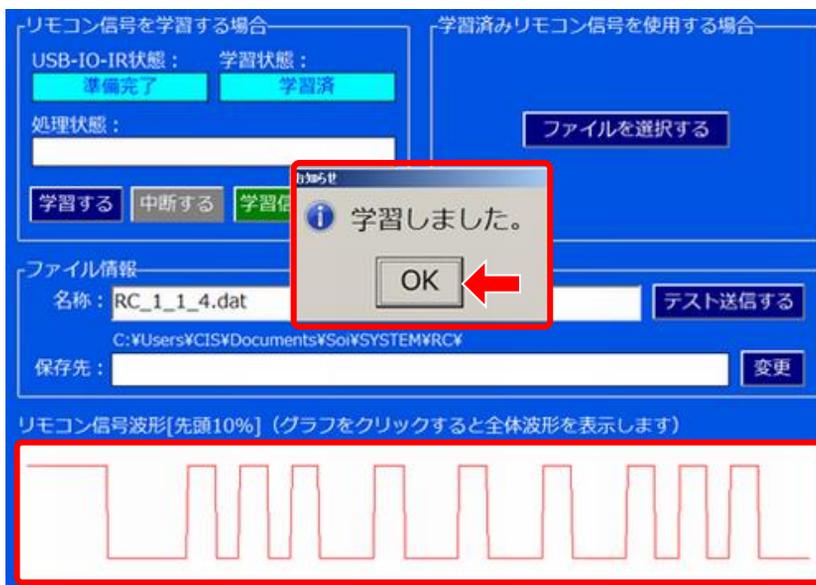


4. 学習が始まると、「処理状態」が「リモコン信号データ取得中…」に変わります。



【リモコン信号の学習方法(2/2)】

5. 学習が終了すると「学習しました」のメッセージが表示されるとともに、学習したリモコン信号波形が表示されますので、「OK」を押します。



学習できない時、学習を失敗したときには「タイムアウト」の表示が出ます。その際には再度学習をやり直してください。

タイムアウトしました

6. 制御ボックスに接続された赤外線発光ユニットを機器に向けた後、「テスト送信する」を押して機器が操作されることを確認します。



7. 他のリモコン信号を学習する場合は、上記操作を繰り返し行います。学習を終了する場合は、「保存する」を押して終了します。

リモコン信号学習画面

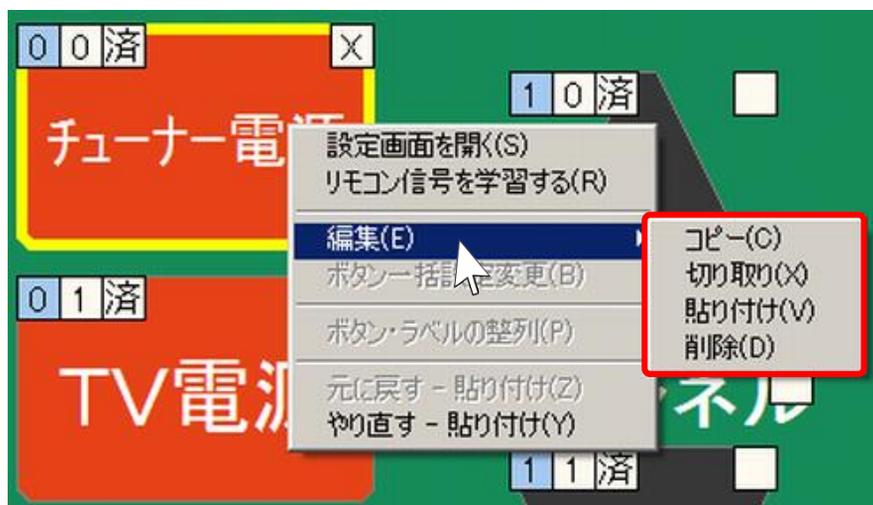
キャンセル

保存する

(3) 編集

リモコンボタンにカーソルを合わせて、「右クリック→編集」でサブメニューが表示されます。

- ・コピー(C): 現在選択しているボタンをコピーします。
- ・切り取り(X): 現在選択しているボタンを切り取ります。
- ・貼り付け(V): コピーしたボタンを貼り付けます。
- ・削除(D): 現在選択しているボタンが削除されます。



リモコンボタンの編集

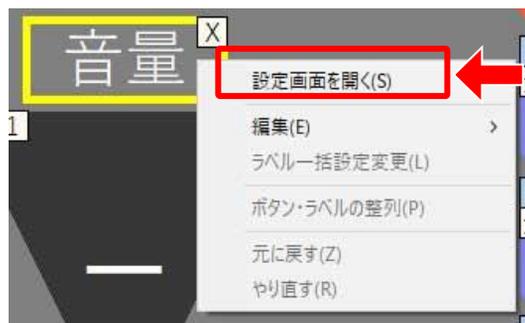
(4) 元に戻す・やり直す

「6-3-3-3 リモコンボタン画面のポップアップメニュー」を参照してください。

6-3-3-5. リモコンラベルの編集

(1) リモコンラベルの編集

設定するリモコンラベルをダブルクリックもしくは右クリックして「設定画面を開く(S)」でリモコンラベル設定画面が開きますので、この画面からラベルのフォントや位置を編集します。



設定画面を開く



リモコンラベル設定画面

リモコンラベルの編集は、「枠表示設定」を除いてはリモコンボタンの編集と同様です。
(ただし、ボタングループ番号と選択順番号はありません。)

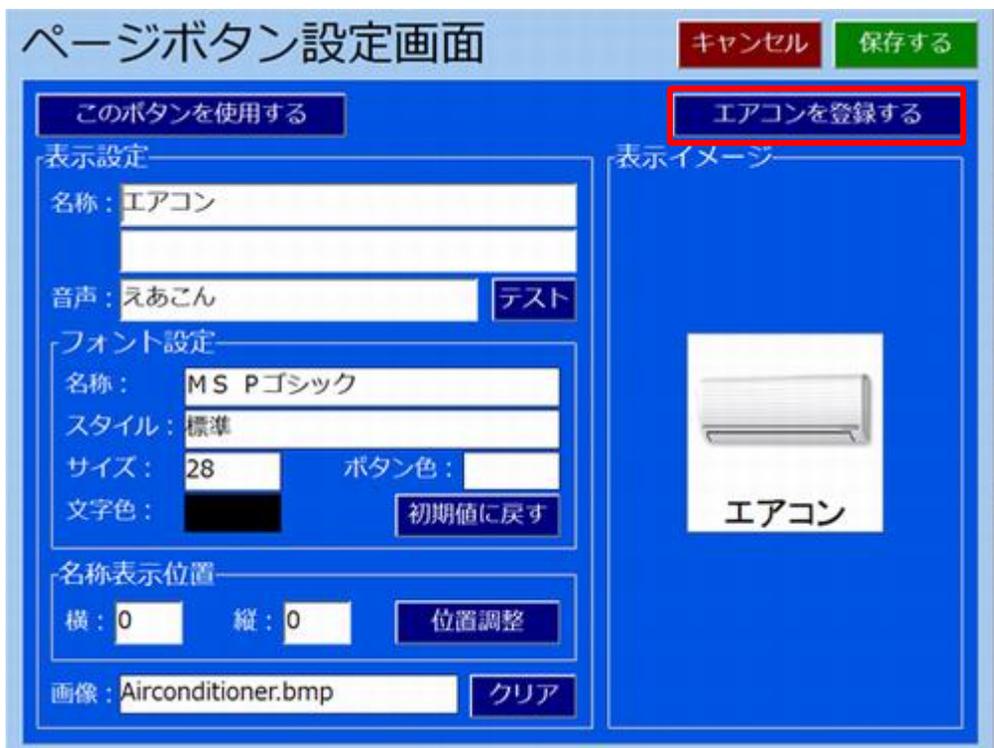
7. エアコンの設定

7-1. ページボタンの設定

大分類エリアのエアコンページボタンを右クリックして、「設定画面を開く(S)」を選択します。



エアコンページボタンのポップアップメニュー

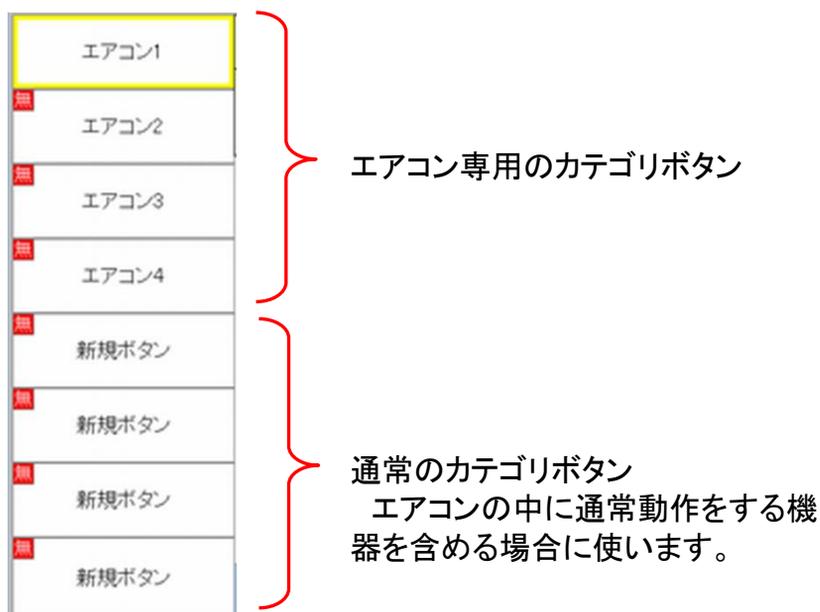


ページボタン設定画面

エアコンのページボタン設定画面では、「エアコンを登録する」というボタンがあり、このボタンはシステムで予めエアコンの設定に使用します。エアコンの設定が必要ない場合は、「エアコンを登録する」を押して「エアコンを登録しない」に設定します。

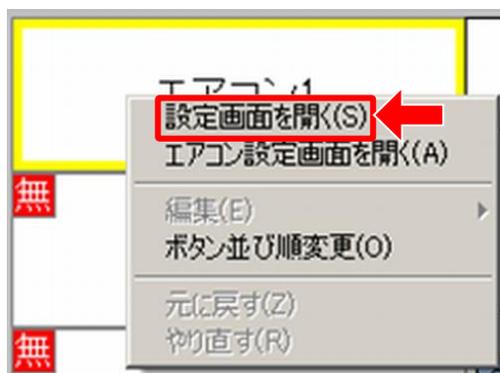
7-2. カテゴリボタンの設定

中分類エリアでは、予め4つのカテゴリボタンをエアコン登録に割り当てています。従って、4台までのエアコンを登録可能です。残り4つのカテゴリボタンは、通常のカテゴリボタンとして設定可能です。



7-2-1. 設定画面の編集

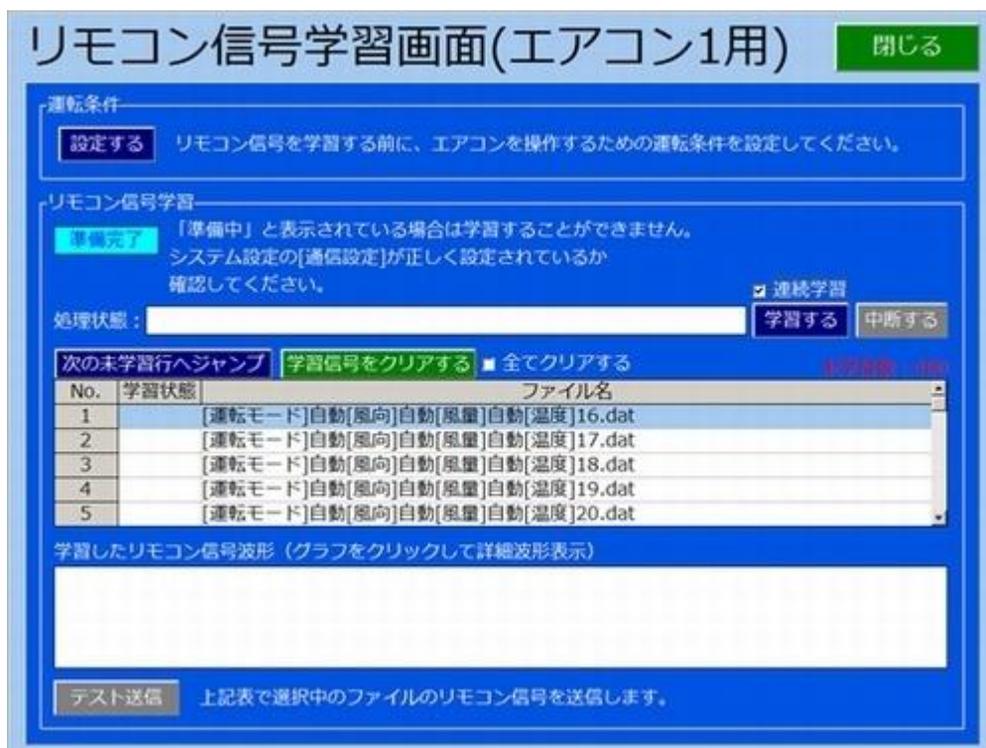
エアコン専用のカテゴリボタンを右クリックして「設定画面を開く(S)」でフォント、ボタン色などの編集を行います。この設定は、通常のカテゴリボタンと同様です。



カテゴリボタンのポップアップメニュー

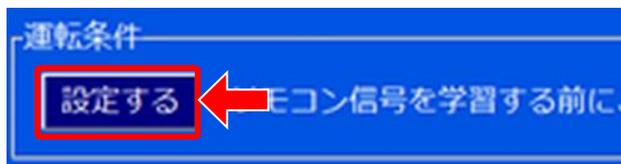
7-2-2. エアコン設定画面の設定

エアコンのカテゴリボタンを「右クリック」→「エアコン設定画面を開く(A)」で「エアコン信号学習画面(エアコンX用)」が表示されますので、エアコンのリモコン設定を行います。(エアコンXのXは1~4までが入ります。また、「エアコン設定画面を開く(A)」メニューは通常のカテゴリボタンでは表示されません。)



7-2-3. 運転条件の設定

運転条件の「設定する」を押します。



エアコン運転条件設定



条件	名称	音声	使用する	初期値にする	初期値にしない
条件1	自動	うんてんもーど、じどう	使用する	初期値にする	
条件2	暖房	だんぼー	使用する		初期値にしない
条件3	冷房	れいぼー	使用する		初期値にしない
条件4	除湿	じょしつ	使用する		初期値にしない
条件5			使用しない		初期値にしない

エアコン運転条件設定画面

運転条件設定画面ではステップ1から6まで順に設定を行います。
右下にある「次へ」ボタンを押して、順次設定を行います。

番号	ステップ	内 容
①	ステップ1:運転モード	運転モード(暖房、冷房など)を設定します。
②	ステップ2:風向	風向(自動、固定など)を設定します。
③	ステップ3:風量	風量(強、弱など)を設定します。
④	ステップ4:温度	温度範囲を16℃～30℃の間で設定します。
⑤	ステップ5:追加条件	①～④以外の設定条件があれば、ここで設定します。
⑥	最終ステップ	①～⑤の設定を保存します。

エアコン設定の操作ステップ

① ステップ1:運転モード

「運転モード」では、エアコン機器の運転モードの種類を5つまで登録できます。ただし、条件1～4までは予め、「自動」、「暖房」、「冷房」、「除湿」が割り当てられています。

運転条件設定画面 キャンセル 保存する

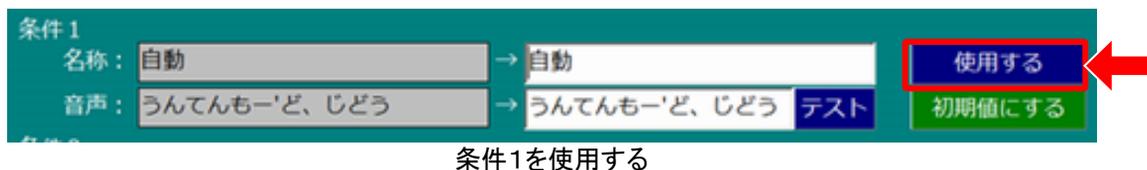
ステップ1. 運転モード
使用しない条件は、ボタンを押して「使用しない」に設定してください。

条件1	名称: 自動	→ 自動	使用する
	音声: うんてんもーど、じどう	→ うんてんもーど、じどう	初期値にする
条件2	名称: 暖房	→ 暖房	使用する
	音声: だんぼー	→ だんぼー	初期値にしない
条件3	名称: 冷房	→ 冷房	使用する
	音声: れいぼー	→ れいぼー	初期値にしない
条件4	名称: 除湿	→ 除湿	使用する
	音声: じょしつ	→ じょしつ	初期値にしない
条件5	名称:	→	使用しない
	音声:	→	初期値にしない

次へ

(i) 使用／不使用の設定

「自動」、「暖房」、「冷房」、「除湿」のうち使用しない条件がある場合は、「使用する」ボタンを押して「使用しない」に変更します。



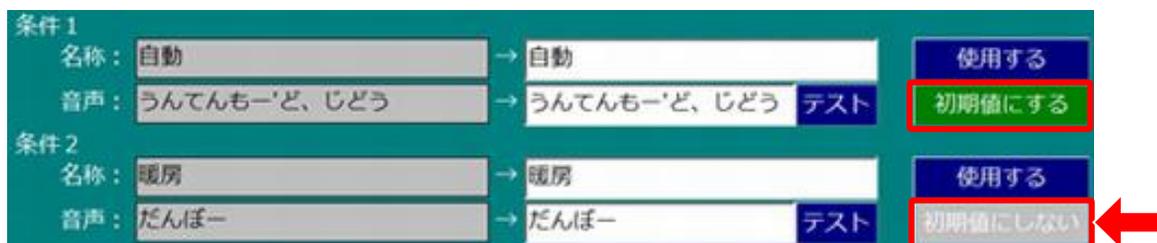
条件1を使用する



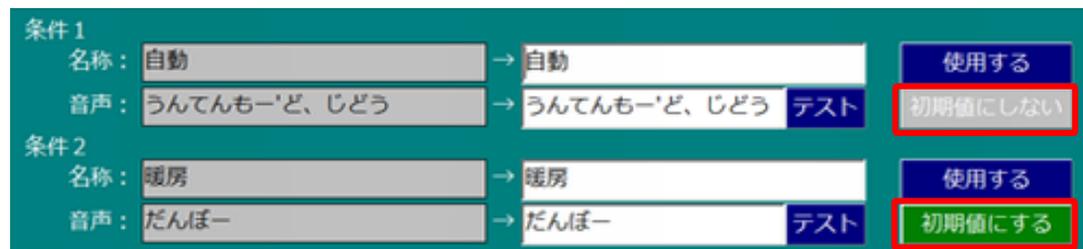
条件1を使用しない

(ii) 初期値の設定

条件を初期値にすることで、起動時のエアコン運転モードを設定することができます。「初期値にする」を押すと有効になります。初期値はどれか一つだけ設定することができます。



条件1を初期値として使用



条件2を初期値として使用

(iii) 名称・音声の設定

「使用しない」ボタンを押して「使用する」にした後、条件の名称と読み上げる合成音声の文字列をキーボードから入力します。「テスト」を押すと登録された文字列が合成音声で読み上げられます。

条件 5
名称： →
音声： → テスト

使用しない
初期値にしない

条件を「使用する」に変更



条件 5
名称： → 涼快
音声： → りょうかい テスト

使用する
初期値にしない

名称・音声の設定

(iv) 次の画面

運転モードの設定が終了すれば、「次へ」を押して次の設定画面に移ります。

条件 5
名称： → 涼快
音声： → りょうかい テスト

使用する
初期値にしない

次へ

画面の移動

② ステップ2: 風向

「風向」では、エアコン機器の風向の種類を条件1～条件5に5つまで登録できます。ただし、条件1～条件2はそれぞれ予め、「自動」、「固定」が割り当てられています。設定方法は、①の運転モードと同様に行います。

ステップ2. 風向
使用しない条件は、ボタンを押して「使用しない」に設定してください。

条件1	名称: 自動	→	自動	使用する
	音声: かざむき、じどう	→	かざむき、じどう	テスト
				初期値にする
条件2	名称: 固定	→	固定	使用する
	音声: かざむき、こてい	→	かざむき、こてい	テスト
				初期値にしない
条件3	名称:	→		使用しない
	音声:	→		テスト
				初期値にしない
条件4	名称:	→		使用しない
	音声:	→		テスト
				初期値にしない
条件5	名称:	→		使用しない
	音声:	→		テスト
				初期値にしない

前へ 次へ

風向の設定

風向の設定が終了すれば、「次へ」を押して次の設定画面に移ります。前の画面に戻るときは、「前へ」を押します。

条件5

名称:	→		使用しない
音声:	→		テスト
			初期値にしない

前へ 次へ

画面の移動

③ ステップ3: 風量

「風量」では、エアコン機器の風向の種類を条件1～条件5に5つまで登録できます。ただし、条件1～条件4はそれぞれ予め、「自動」、「弱」、「中」、「強」が割り当てられています。設定方法は、①の運転モードと同様に行います。

条件	名称	音声	テスト	使用する	初期値にする
条件1	自動	ふうりょ'う、じどう	テスト	使用する	初期値にする
条件2	弱	ふうりょ'う、じゃ'く	テスト	使用する	初期値にしない
条件3	中	ふうりょ'う、ちゅ'う	テスト	使用する	初期値にしない
条件4	強	ふうりょ'う、きょ'う	テスト	使用する	初期値にしない
条件5			テスト	使用しない	初期値にしない

風量の設定

風量の設定が終了すれば、「次へ」を押して次の設定画面に移ります。前の画面に戻るときは、「前へ」を押します。

前へ	次へ
----	----

画面の移動

④ ステップ4: 温度

「温度」では、最低温度、最高温度、初期値、ボタンの名称・音声を設定します。起動時には、初期値の温度が設定され、最低温度から最高温度まで1℃きざみでの運転が可能になります。

温度の設定

(i) 温度の設定

「最低温度」のボックスを押すとプルダウンリストが表示されますので、16～30の値を選択します。「最高温度」と「初期値」も同様に設定します。



温度のプルダウンリスト

(ii) ボタンの設定

「温度を上げるボタン」と「温度を下げるボタン」の設定を行います。

両方とも名称は変更できません。

音声のみキーボードから入力します。「テスト」を押すと入力した文字列が発音されます。

温度を上げるボタン	
名称: +	*変更不可
音声: おんど、あげ	テスト
温度を下げるボタン	
名称: -	*変更不可
音声: おんど、さげ	テスト

温度ボタンの設定

温度の設定が終了すれば、「次へ」を押して次の設定画面に移ります。前の画面に戻るときは、「前へ」を押します。

条件5			使用しない
名称:	→		
音声:	→	テスト	初期値にしない
前へ			次へ

画面の移動

⑤ ステップ5: 追加条件

使用するエアコン機器によって、運転モード、風量、風向、温度以外の設定条件があれば、追加条件として設定することができます。

ステップ5. 追加条件1

使用しない条件は、ボタンを押して「使用しない」に設定してください。
条件追加が不要の場合は、そのまま「次へ」ボタンを押してください。

条件名	名称	音声	テスト	初期値
条件1			テスト	初期値にする
条件2			テスト	初期値にしない
条件3			テスト	初期値にしない
条件4			テスト	初期値にしない
条件5			テスト	初期値にしない

前へ 次へ

追加条件の設定

(i) 追加条件名称の設定

追加条件の名称をキーボードから入力します。

ステップ5. 追加条件1

条件の名称入力

(ii) 名称・音声の設定

各条件の名称と音声をキーボードから入力します。

追加条件の設定が終了すれば、「次へ」を押して次の設定画面に移ります。前の画面に戻るときは、「前へ」を押します。

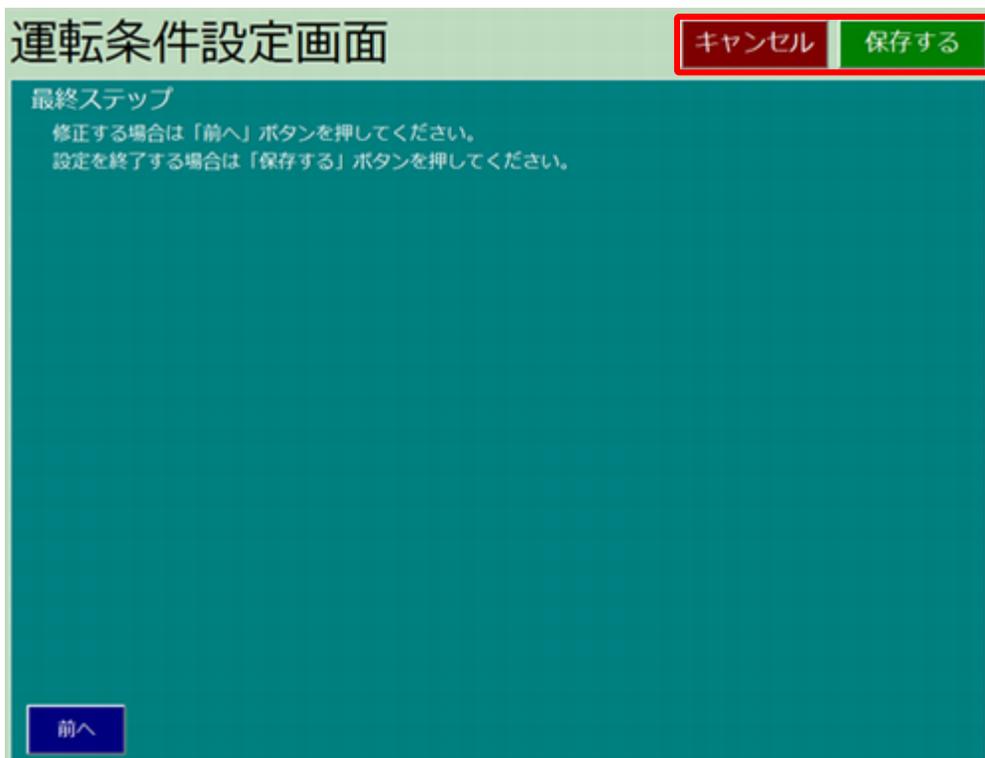
条件5
名称: [] → [] 使用しない
音声: [] → [] テスト 初期値にしない

前へ 次へ

画面の移動

⑥ ステップ6:最終ステップ

運転条件設定が完了して設定データを保存する場合は「保存する」を、保存しないで終了する場合は「キャンセル」を押します。



最終ステップ画面

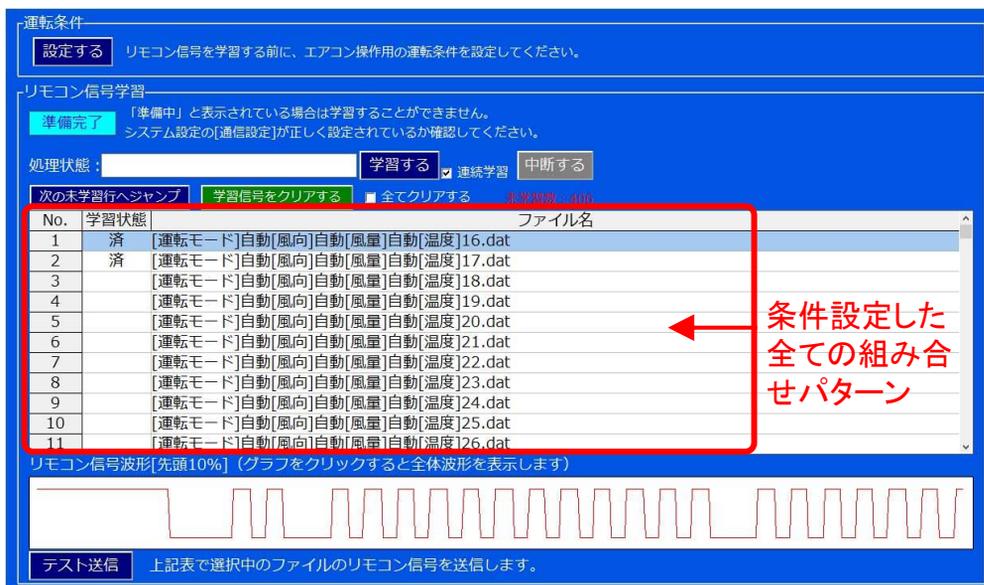
前の画面に戻るときは、「前へ」を押します。



画面の移動

7-2-4. リモコン信号学習

運転条件で設定した運転モード、風向、風量、温度の全ての組み合わせが自動的に生成され、それぞれのパターンに対応するリモコン信号を学習させます。



リモコン信号学習画面

(1) 準備完了の確認

「準備完了」が表示されていることを確認します。「準備中」が表示されているときは学習できませんので、「システム設定画面」の「通信設定」で確認します。



準備完了

(2) 連続学習の設定

学習のパターンが非常に多くありますので、リモコン学習を連続して行うと効率的になります。連続学習を行う場合は、「連続学習」のチェックボックスにチェックを入れます。チェックが入っていない場合は、学習は1回で終了します。



連続学習

(3) リモコン信号学習

(i) 学習

制御ボックスの赤外光入力に学習させるリモコンの発光部を向けます。

(リモコンとの距離は5cm以内になるようにします。)

「学習する」を押した後、ファイル名欄に記載されている学習パターン(水色で背景表示されているパターン)に対応する機器のリモコンボタンを押します。



「学習する」ボタンを押す

学習が完了すると、「学習状態」が「済」になり、また信号波形が表示されるとともに、自動的に次の学習するパターンに移りますので、対応する機器のリモコンボタンを押します。

No.	学習状態	ファイル名
1	済	[運転モード]自動[風向]自動[風量]自動[温度]16.dat
2		[運転モード]自動[風向]自動[風量]自動[温度]17.dat
3		[運転モード]自動[風向]自動[風量]自動[温度]18.dat
4		[運転モード]自動[風向]自動[風量]自動[温度]19.dat
5		[運転モード]自動[風向]自動[風量]自動[温度]20.dat

学習したリモコン信号波形 (グラフをクリックして詳細波形表示)

学習パターンの状態

同様にして順次、学習を行っていきます。

途中で中断する場合は、「中断する」を押します。



学習の中断

(ii) 未学習行へのジャンプ

一旦中断した後、未学習状態のパターンを学習させるには、「次の学習へジャンプ」を押すと次の未学習パターンが選択されます。

No.	学習状態	ファイル名
1	済	[運転モード]自動[風向]自動[風量]自動[温度]16.dat
2	済	[運転モード]自動[風向]自動[風量]自動[温度]17.dat
3		[運転モード]自動[風向]自動[風量]自動[温度]18.dat
4		[運転モード]自動[風向]自動[風量]自動[温度]19.dat
5		[運転モード]自動[風向]自動[風量]自動[温度]20.dat

↓

No.	学習状態	ファイル名
1	済	[運転モード]自動[風向]自動[風量]自動[温度]16.dat
2	済	[運転モード]自動[風向]自動[風量]自動[温度]17.dat
3		[運転モード]自動[風向]自動[風量]自動[温度]18.dat
4		[運転モード]自動[風向]自動[風量]自動[温度]19.dat
5		[運転モード]自動[風向]自動[風量]自動[温度]20.dat

次の未学習行へジャンプ

(iii) 学習パターンのクリア(消去)

学習したパターンをクリアするには、クリアしたいパターンを選択後、「学習信号をクリアする」を押します。確認メッセージが表示されますので、「はい(Y)」を押すと選択した学習信号がクリアされます。

No.	学習状態	ファイル名
1	済	[運転モード]自動[風向]自動[風量]自動[温度]16.dat
2	済	[運転モード]自動[風向]自動[風量]自動[温度]17.dat
3		[運転モード]自動[風向]自動[風量]自動[温度]18.dat
4		[運転モード]自動[風向]自動[風量]自動[温度]19.dat
5		[運転モード]自動[風向]自動[風量]自動[温度]20.dat

↓

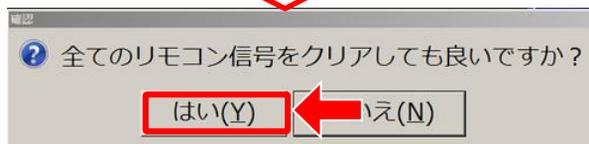
確認
No.1のリモコン信号をクリアしても良いですか？

はい(Y) ← いいえ(N)

学習信号のクリア

(iv) 学習パターンの全クリア(消去)

学習した全てのパターンをクリアするには、「全てクリアする」チェックボックスにチェックを入れた後、「学習信号をクリアする」を押します。確認メッセージが表示されますので、「はい(Y)」を押すと選択した学習信号がクリアされます。



全ての学習信号のクリア

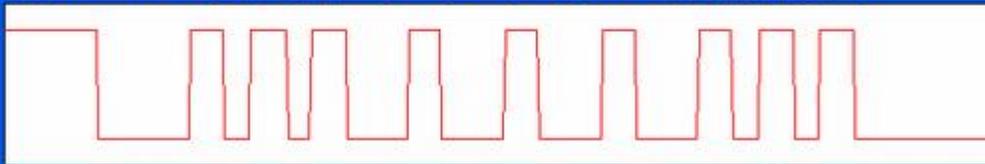
(v) テスト送信

信号が正常に学習されたかを確認するには、確認するパターンを選択しておき、制御ボックスに接続された赤外線発光ユニットをエアコン本体に向けた後、「テスト送信する」を押して機器が操作されることを確認します。



No.	学習状態	ファイル名
1	済	[運転モード]自動[風向]自動[風量]自動[温度]16.dat
2	済	[運転モード]自動[風向]自動[風量]自動[温度]17.dat
3		[運転モード]自動[風向]自動[風量]自動[温度]18.dat
4		[運転モード]自動[風向]自動[風量]自動[温度]19.dat
5		[運転モード]自動[風向]自動[風量]自動[温度]20.dat

学習したリモコン信号波形 (グラフをクリックして詳細波形表示)



テスト送信 ← 記表で選択中のファイルのリモコン信号を送信します。

学習信号のテスト送信

8. 操作説明

8-1. 主な操作方法

■タッチパネル

タッチパネル画面を直接タッチして、画面のボタン操作します。

■マウス

マウスで画面のボタンをクリックして操作します。

■スイッチ

1つまたは2つのスイッチを作動させて画面上のリモコンボタンを操作します。

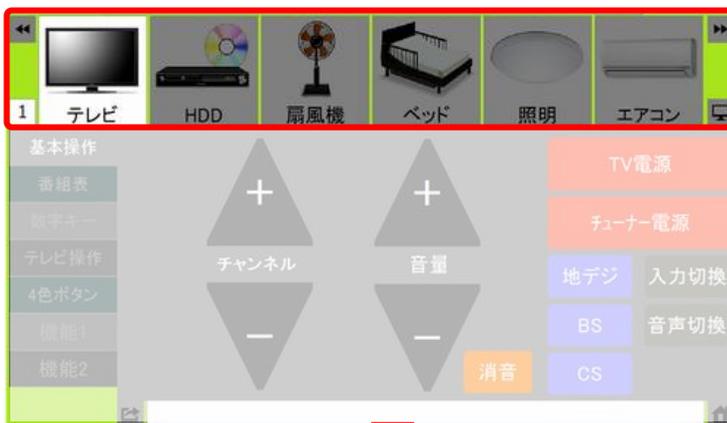
以下の説明では、タッチパネルへのタッチ、キーボードからの入力、マウスのクリック、スイッチからの入力を全て「押す」という表現で表します。

8-2. リモコン機器選択手順

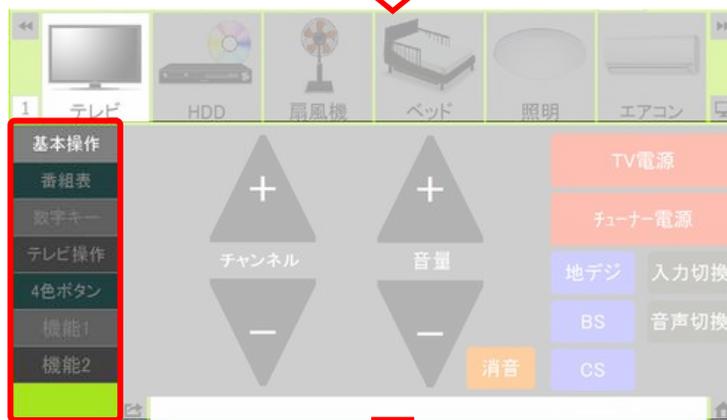
リモコン機器を操作するには、

- ①大分類エリアで機器を選択
- ②中分類エリアで操作や機能に関する項目を選択
- ③小分類エリアでボタンを選択

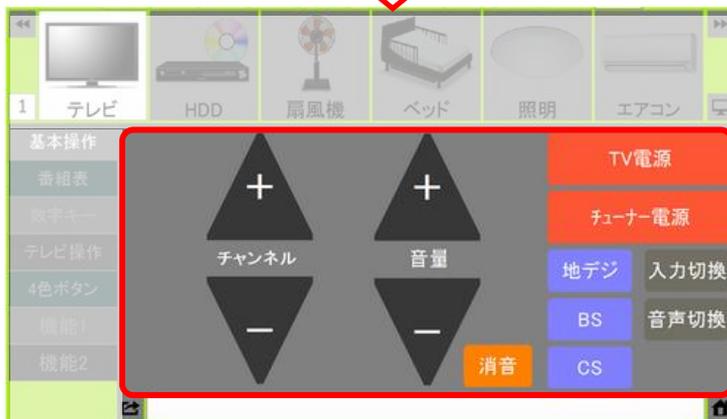
という手順で画面を選択していきます。



大分類エリアの
ページボタンを
選択します



中分類エリアの
カテゴリボタンを
選択します



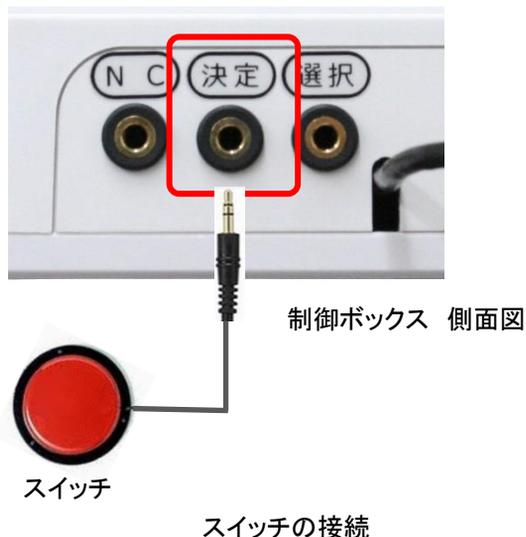
小分類エリアの
リモコンボタンを
選択します

8-3. スイッチ1個による操作(スキャン操作)

スキャン操作による1個のスイッチを使用した操作方法を説明します。

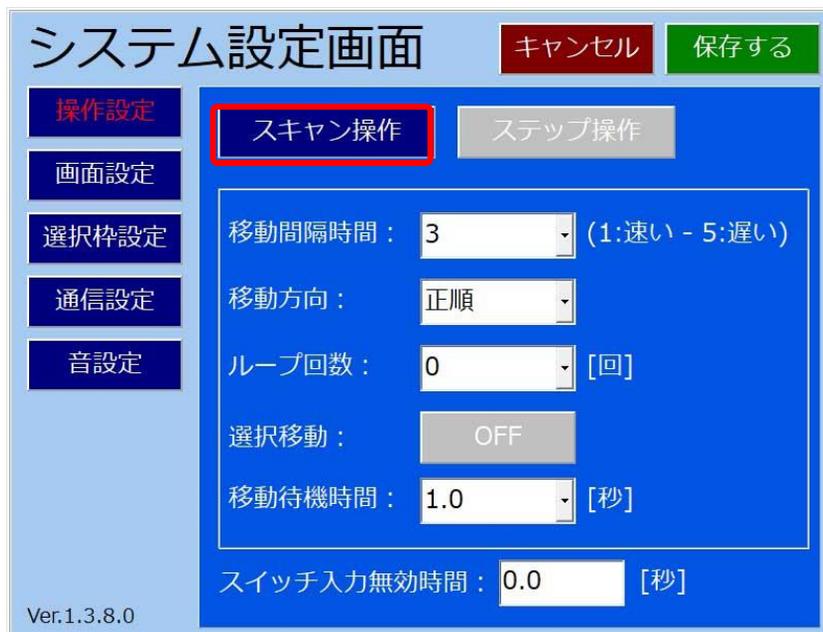
(1) スイッチの接続

制御ボックスの「決定」に押しボタンスイッチなどのスイッチを接続しておきます。



(2) スキャン操作の設定

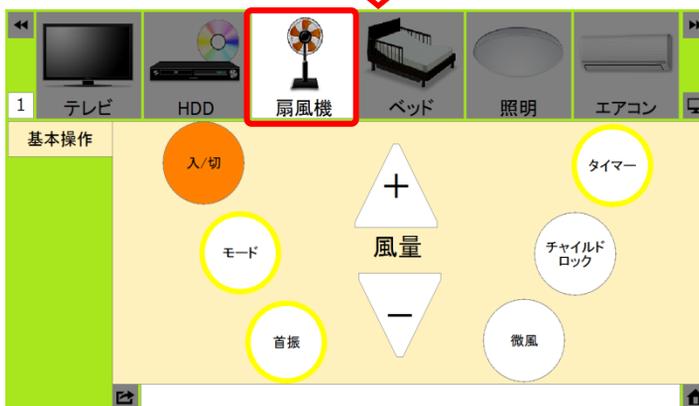
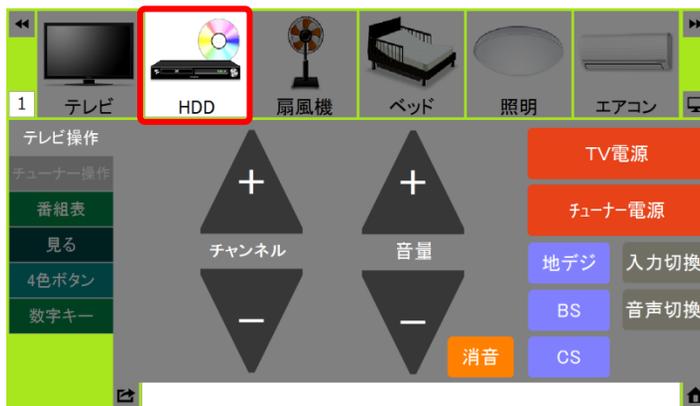
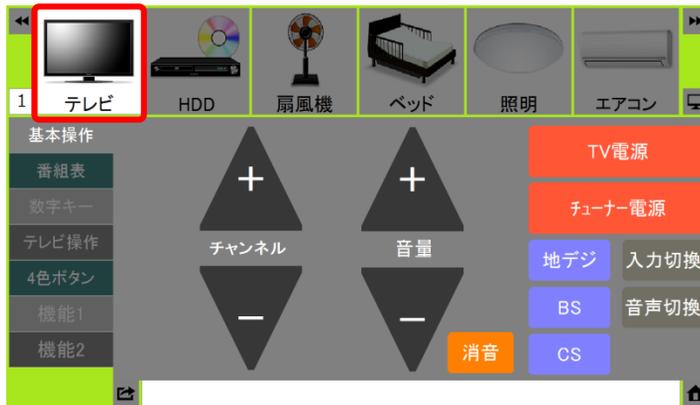
設定モードに移行した後、「システム設定画面」の「操作設定」で「スキャン操作」を選択します。



操作設定画面でのスキャン操作設定

(3) ページボタンの選択

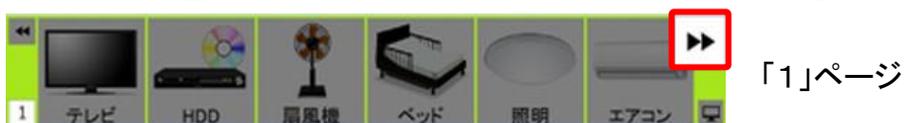
設定モードを終了して操作モードに移行すると、大分類エリアのページボタンがページボタン枠が自動的にスキャン(走査)を開始します。移動する枠が操作したいページボタンに重なった時に、スイッチを押すと、そのページボタンが決定されます。ページボタンの操作については、「6-3-1. ページボタンの設定」を参照ください。



ページボタンの選択

【ページの移動】

スキャンが「▶▶」の位置でスイッチを押すと、次のページに画面が移ります。



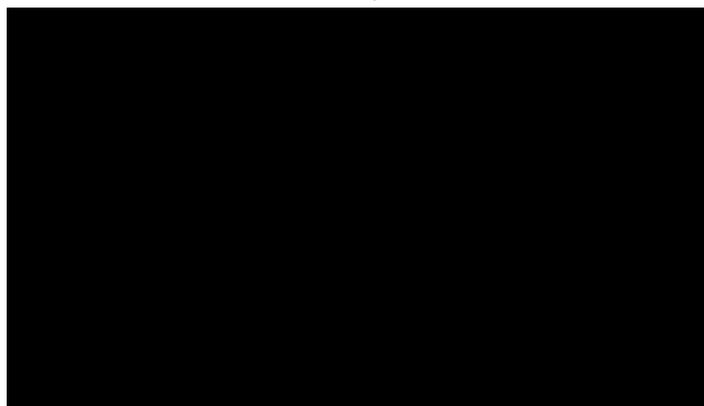
また、スキャンが「◀◀」の位置でスイッチを押すと、前のページに画面が移ります。



【画面のオフ】

画面アイコンの位置でスイッチを押すと、画面がオフ(スリープ状態)になります。

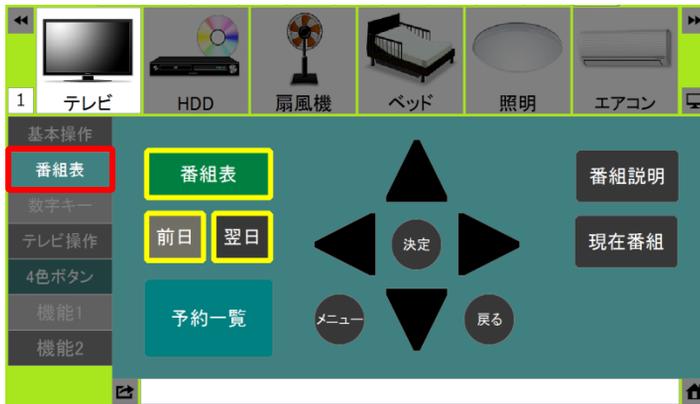
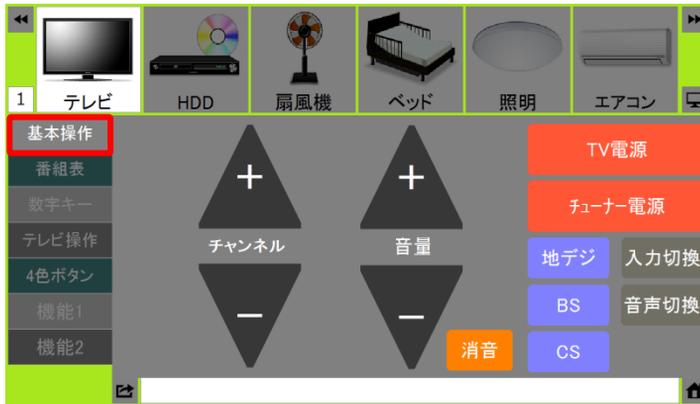
画面オフの状態、スイッチを2回押すと画面が復帰します。



画面オフ

(4) カテゴリボタンの選択

ページボタンを選択すると選択した機器のカテゴリボタンがスキャンされていきますので、ページボタンと同様にカテゴリボタンを選択します。



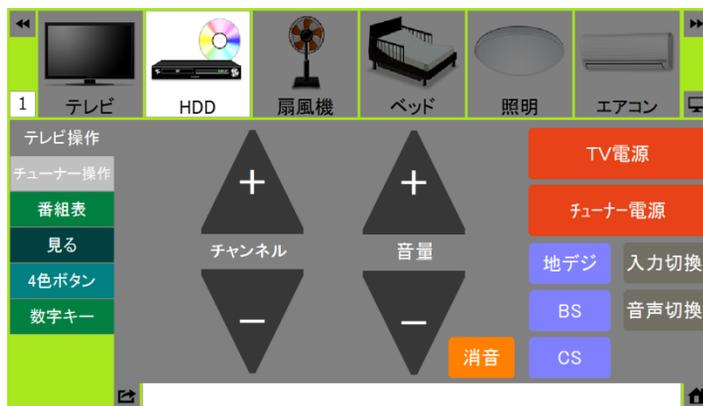
カテゴリボタンの選択

【大分類エリアへの復帰】

画面下側の復帰アイコンの位置でスイッチを押すと、大分類エリアのページボタンの選択に戻ります。



中分類エリア



大分類エリア

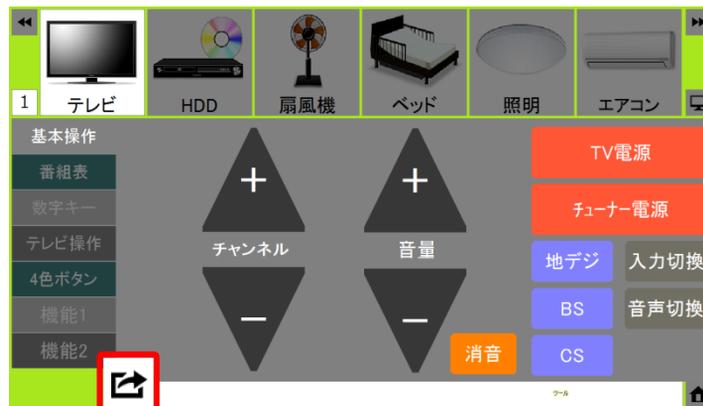
(5) リモコンボタンの選択

カテゴリボタンを選択すると選択した項目のリモコンボタンがスキャンされます。

リモコンボタンの選択については、「6-3-3-3. リモコンボタン画面のポップアップメニュー」の【ボタングループと選択番号】の説明を参照ください。

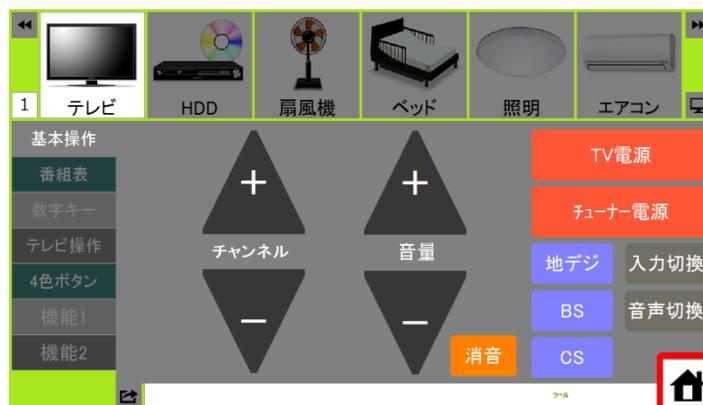
【中分類エリアへの復帰】

画面左下側の復帰アイコンの位置でスイッチを押すと、中分類エリアのカテゴリボタンの選択に戻ります。



【大分類エリアへの復帰】

画面右下側のホームアイコンの位置でスイッチを押すと、大分類エリアのページボタンの選択に戻ります。

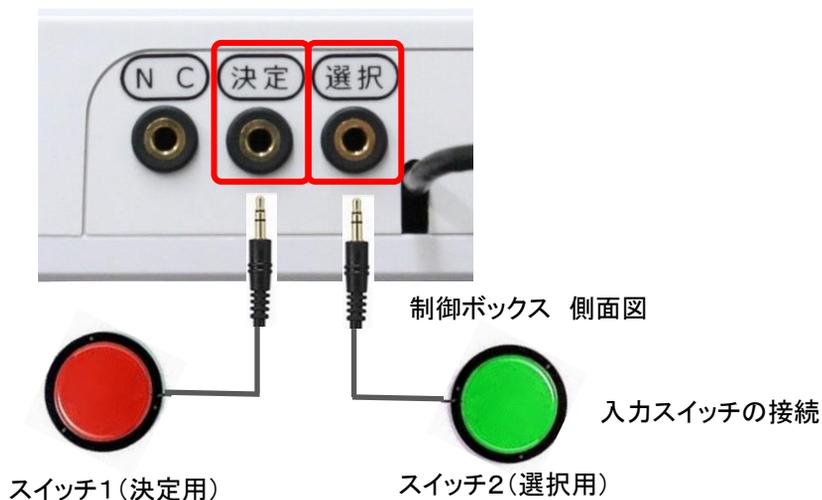


8-4. スイッチ2個による操作(ステップ操作)

ステップ操作による2個のスイッチを使用した操作方法を説明します。

(1) 入力スイッチの接続

制御ボックスの「決定」と「選択」にスイッチを接続します。



(2) ステップ操作の設定

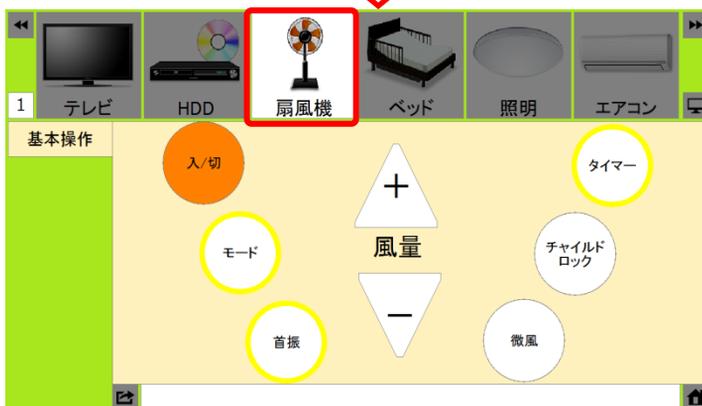
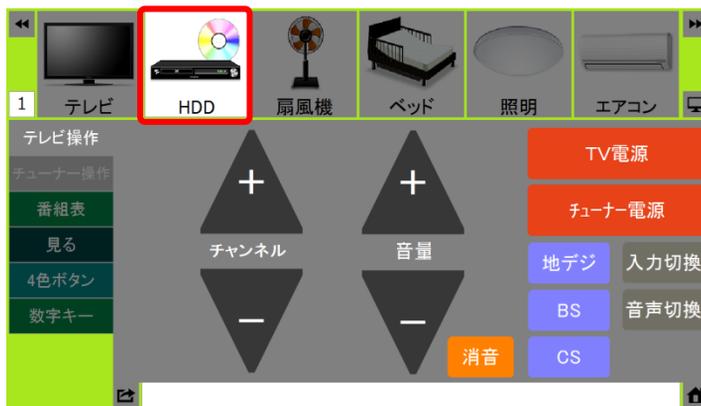
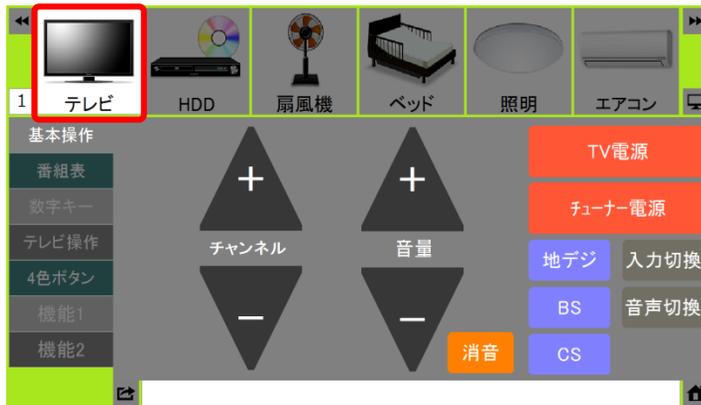
設定モードに移行した後、「システム設定画面」の「操作設定」で「ステップ操作」を選択します。



操作設定画面でのステップ操作設定

(3) ボタンの選択

設定モードを終了して操作モードに移行した後、「選択」に接続されたスイッチを押す度に、ページボタンが右方向に移動します。選択したいページボタンに枠が移動したときに「決定」に接続されたスイッチを押すとそのページボタンが決定されます。ページボタンの操作については、「6-3-1. ページボタンの設定」を参照ください。



ページボタンの選択

9. 注意事項

- 本書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本製品を分解・修理・改造しないでください。分解・修理・改造等によって発生した故障・事故・災害等につきましては、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本製品を設置する前に、制御したい家電製品等は正常にご使用いただける状態になっている必要があります。
- 本製品を設置した後に、各種設定を変更する場合は、お客様ご自身で行なってください。ご自身で困難な場合には、有償にて承ることも可能ですので、販売店にご相談ください。
- 本製品で制御できない家電製品等もあります。
- 本製品で制御できる家電製品等であっても、設置場所・状態により制御できない場合もあります。
- 本製品で未使用の接続口はメンテナンス専用です。お客様ご自身で機器を接続した場合は、動作保証外となります。また、これによって発生した故障・事故・災害等につきましては、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本製品は日本国内での使用を前提に設計・製造されています。
日本国外では使用しないでください。
- 本製品は精密機器です。直射日光の当たる場所、および高温・多湿の場所、気温の変動が激しい場所での使用は避けてください。
- 本製品の使用中に異常音・異臭がするときは、故障の恐れがあります。速やかに使用を中止し電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。
- 本製品に強い振動や衝撃を与えないでください。
- 本製品の上に物を置いたり、本製品と接続されているケーブルを踏んだり、扉ではさんだり、引っ張ったりして無理な力を加えないでください。
- 本製品を生命維持に関わる装置や、緊急通報装置と連動することは避けてください。
- 有償・無償に関わらず、本アプリケーションソフト（コピーを含む）を第三者に譲渡することはできません。また、使用させることもできません。
- 本アプリケーションソフトを、解析・変更・改造をすることはできません。解析・変更・改造を行った場合、これによって発生した故障・事故・災害等につきましては、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 環境制御装置本体の故障に伴う、設定データ等の消失につきましては、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 万が一、使用中に不具合が発生した場合は、販売店にご連絡ください。
- 本アプリケーションソフトの仕様は予告なく変更することがあります。

10. 保証

- メーカー出荷後12ヶ月以内に発生した弊社に瑕疵のある不具合に関しましては、無償で対応・修理させていただきます。
- 有償・無償に係わらず修理期間中は、代替品を送付させていただきます。修理品はメーカー送り返しで修理させていただきます。

保証期間中に発生した不具合に対応するために必要な送料は、弊社または代理店が負担させていただきます。なお、保証期間経過後の場合は、お客様負担とさせていただきます。

※本書に掲載されている仕様及びデザインは予告なく変更されることがあります。

お問い合わせ先

■総合お問い合わせ先

お電話からのお問い合わせ

TEL 086-477-8328

- 電話番号をご確認の上、掛け間違いのないようにお掛けください。
- 故障・アフターサービスについては上記お問い合わせ先にご連絡ください。

販売代理店

代
理
店

株式会社コスモ情報システム

〒706-0153

岡山県玉野市滝1463番地

Mail: info@cosmo-info.co.jp

URL: <http://www.cosmo-info.co.jp>